季節の花シリーズ

（Ｎｏ．７９）



【クズ】マメ科クズ属
＜花期＞８～９月頃
＜花言葉＞芯の強さ、活力、治癒、根気
＜特徴＞クズの根は肥大し長大で、デンプンを蓄えて横にのび白色､かむと少し苦味があります。茎は太く丈夫で、長く他に絡みついてのび、褐色毛に覆われています。葉の裏面は白味を帯びて毛が密集してざらざらしています。花は、秋に葉腋からのびた軸に総状花序をつくります。果実は、長さ 6～8 センチ、巾 8～10 ミリの扁平、茶褐色で有毛のさやをつけます。
＜薬効＞有効成分は、多量のデンプン他。解熱、鎮痙、脳冠状血管血流増加作用や血糖降下、女性ホルモン様作用があり、発汗解熱効果がすぐれています。漢方薬の葛根湯、桂枝加葛根湯などに配合され、漢方薬に最も多く配合される薬草のひとつです。



【ウイキョウ】セリ科ウイキョウ属
＜花期＞６～８月
＜花言葉＞称賛、精神の強さ、強い意志
＜特徴＞草茎は叢生して上部で枝が分かれています。高さは１．５～２メートル位になります。葉は互生して３～４回に羽状に細かく分裂した複葉です。枝先にやや大型の複散形花序をつけます。多数の黄色の小花があり、花は花弁５枚で内側にややまき込んで塊状に見えます。果実は分離果で熟すと２分果に分かれます。
＜薬効＞茴香（ウイキョウ）とは、本来はフェンネルの種のことを指します。この種には、胃腸を健康に保つ、痰を取り除く、消化促進、消臭の効能があるとされ、平安時代に日本に渡来したときから生薬として利用されてきました。健胃の目的で安中散などに配合されます。

（撮影）田村隆幸
（文）八木素子



抗悪性腫瘍剤 販売移管 薬価基準収載
毒薬・処方箋医薬品※
アクプラ®静注用 10mg 50mg 100mg
注射用ネダプラチン

経口腎性貧血用剤・抗乳腺腫瘍剤 販売移管 薬価基準収載
劇薬・処方箋医薬品※
チオデロン®カプセル 5mg
メピチオスタンカプセル

抗悪性腫瘍剤 販売移管 薬価基準収載
劇薬・処方箋医薬品※
注射用フィルデシン® 1mg 3mg
注射用ピンデシン硫酸塩

抗悪性腫瘍剤 薬価基準収載
毒薬・処方箋医薬品※
オキサリプラチン点滴静注液 50mg 100mg 200mg「日医工」
オキサリプラチン点滴静注液

抗悪性腫瘍剤 薬価基準収載
毒薬・処方箋医薬品※
カルボプラチン注射液 50mg 150mg 450mg「日医工」
日本薬局方 カルボプラチン注射液

抗悪性腫瘍剤 薬価基準収載
毒薬・処方箋医薬品※
シスプラチン注 10mg 25mg 50mg「日医工」
シスプラチン注射液

アロマターゼ阻害剤/閉経後乳癌治療剤 薬価基準収載
劇薬・処方箋医薬品※
アナストロゾール錠 1mg「日医工」
アナストロゾール錠

前立腺癌治療剤 薬価基準収載
劇薬・処方箋医薬品※
ビカルタミド 錠80mg OD錠80mg「日医工」
ビカルタミド錠・口腔内崩壊錠

骨吸収抑制剤 薬価基準収載
劇薬・処方箋医薬品※
ゾレドロン酸 点滴静注4mg/5mL 点滴静注液4mg/100mLバッグ「日医工」
ゾレドロン酸水和物注射液

抗悪性腫瘍剤(チロシンキナーゼインヒビター) 薬価基準収載
劇薬・処方箋医薬品※
イマチニブ錠 100mg 200mg「日医工」
イマチニブメシル酸塩錠

抗乳癌剤 薬価基準収載
処方箋医薬品※
タモキシフェン錠 10mg 20mg「日医工」
タモキシフェンクエン酸塩錠

アロマターゼ阻害剤/閉経後乳癌治療剤 薬価基準収載
劇薬・処方箋医薬品※
レトロゾール錠 2.5mg「日医工」
レトロゾール錠

抗悪性腫瘍剤 薬価基準収載
劇薬・処方箋医薬品※
イリノテカン塩酸塩点滴静注液 40mg 100mg「日医工」
イリノテカン塩酸塩水和物注射液

代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤 薬価基準収載
劇薬・処方箋医薬品※
ゲムシタビン点滴静注用 200mg「日医工」
注射用ゲムシタビン塩酸塩

活性型葉酸製剤 薬価基準収載
処方箋医薬品※
レボホリナート点滴静注用 25mg 50mg 100mg「日医工」
注射用レボホリナートカルシウム

5-HT$_3$受容体拮抗型制吐剤 薬価基準収載
劇薬・処方箋医薬品※
グラニセトロン 静注液1mg・3mg 点滴静注液3mgバッグ「日医工」
グラニセトロン塩酸塩注射液

副腎皮質ホルモン製剤 薬価基準収載
処方箋医薬品※
デカドロン®錠 0.5mg 4mg
デキサメタゾン錠

消化管運動改善剤 薬価基準収載
ドンペリドン 錠5mg・10mg ドライシロップ小児用1%「日医工」
ドンペリドン錠・ドライシロップ

効能・効果, 用法・用量, 使用上の注意等の詳細は添付文書をご参照下さい。
※注意一医師等の処方箋により使用すること

日医工株式会社
NICHI-IKO 富山市総曲輪一丁目6番21
http://www.nichiiko.co.jp

医療従事者のための「がん治療情報サイト」
ONCOLOGY MedNavi
http://www.nichiiko.co.jp/oncology/

お客様サポートセンター
(0120)517-215
FAX(076)442-8948

2016年10月作成

巻頭言

雑感



富山市立富山市民病院
薬剤科　朱亀　進司

病薬会報の巻頭言の依頼を受け、「病院薬剤師」の最近の関心事は何だろう？　と考えてみた。が、あまりみんながホッコリするような事は浮かばない。仕方ないので最近困っていることについて書いてみることにする。

「薬剤師の成り手が少なく、人材確保ができない。」、「“働き方改革”が言われているが、長時間労働・残業などの悪しき慣習が依然として改善されない。」、「病院からは“生産性”の向上と同時に“効率性”の向上も求められる。」等と薬剤師としての悩みと、病院経営の問題との相反する課題に直面している方も多いのではないだろうか。

これまで病院薬剤師は、処方監査，調剤，製剤等の業務に始まり、医薬品情報の収集と提供，病棟活動におけるTDM等の投与量の最適化と副作用防止，がん化学療法における注射剤の無菌調製，麻薬の適正使用と管理や、ICT・NSTなどのチーム医療でも活躍の場を広げてきた。当院では過去数年の間に、薬剤師の人員増を得られた。これは病院の医業収益の増加を期待してという側面もあるが、薬剤師の活動が薬物療法の有効性と安全性に不可欠であることを理解していただいた結果であるとも言える。しかし増員の陰には、指導・管理料の出来高算定部分の増収を期待されているのが見えてくる。

また、団塊の世代が2025年頃までに後期高齢者（75歳以上）に達する事により、介護・医療費等社会保障費の急増が懸念される「2025 年問題」も医療をはじめとする社会保障全体の喫緊の対応するべき問題である。そして、2025 年に向けて「地域医療構想」の実現のため色々な変化が起き、我々病院薬剤師の仕事はますます多様性を増してくるだろう。そして、働き方そのものが変わってしまう。忙しいばかりで、やりがいを感じられなくならないか心配である。

閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2017～人材への投資を通じた生産性向上～」（骨太方針 2017）には、社会保障の中に「薬価制度の抜本改革」「薬剤の適正使用」が大きく謳われている。後発医薬品の使用割合 80％達成を 2020 年(平成 32 年)9 月までとしていたものを、さらに前倒しする使用促進策の検討や、2020 年度（平成 32 年度）末までにバイオシミラーの品目数倍増（成分数ベース）を目指すとあり、「国民負担の軽減」と「医療の質の向上」と言いながら、病院の収益が大きく落ち込むのは仕方のないことなのだろうか。

病院薬剤師が薬物療法の安全性・有効性を担保し、病院の経営や医療・介護等の社会保障にも如何に貢献していくか。薬剤師としての職能を発揮して患者・スタッフから信頼される薬剤師となれるか。この命題に対して、私たちの目指す薬剤師としての理想像をどう落とし込んで、「患者支援」に取り組んでいくか。試されているのではなく、結果を求められている。これからも一人一人が考えて行動して、みんなで一丸となってブラッシュアップしていくことが大切だと思っています。

第 68 回通常総会

富山県病院薬剤師会　平成 29 年度通常総会を開催

広報委員会



富山県病院薬剤師会（北澤英徳会長・済生会高岡病院）は平成 29 年 5 月 20 日、平成 29 年度通常総会（第 68 回）を開催した。会長挨拶、来賓祝辞に続いて総会が行われた。総会では、平成 28 年度会務報告、会計報告および監査報告があった。議案としては、平成 29 年度事業計画、予算案が上程された。全て原案通り承認された。代議員選挙結果について報告がなされ、代議員に脇田真之氏（射水市民病院）、予備代議員に北澤会長が推薦され、満場一致で承認された。脇田代議員から就任挨拶がなされた。総会後、平成 28 年度生涯研修認定薬剤師 64 名、生涯研修 10 年連続 7 名の報告が行われた。富山県病院薬剤師会学術会員表彰が行われ、宮崎　徹氏（厚生連滑川病院）が表彰され、制定後、第 3 号の表彰者となった。続いて、20 年勤続会員 15 名、30 年勤続会員 7 名の永年会員表彰が行われ、代表して脇田氏が挨拶、次いで新人会員 32 名の紹介も行われた。総会は滞りなく終えた。

引続き同会場において、日本病院薬剤師会副会長　土屋文人氏を招き、特別講演「病院薬剤師の使命と責任～対物業務から対人業務をどう捉えるか～」が行われた。特別講演の概要は次の通り。日常業務で実施している業務は、「基本的に合法である」という立場で解釈。医療は実際にはグレーゾーンが多いことから「黒だけは避ける」対応を考えることが重要。ハーボニー事件では、不正な方法で入手した医薬品を、何の疑問もなく流通させた業者の存在と、それを購入した薬局、そこに勤務する薬剤師の認識の薄さである。現金問屋が存在していることの意味を捉え、その要素をなくすべきである。管理薬剤師の権限を強化すべきであり、病院においても同様。厚労省通知のように現金問屋等からの購入の際、個人証明を厳格に求めれば再発防止は可能である。薬剤師が今回のことを契機に考えるべきことは、「薬剤師の使命は何か？薬剤師が国民に対して果たすべき責務は何か？」であり、薬剤師は医療職の中で、対物業務と対人業務の両方を責務として負っている唯一の職種であることを再認識すべきである。「患者のための薬局ビジョン」において求められるのは、薬局薬剤師を対象としたものと捉えるのではなく、薬剤師全体に対する要望と捉えるべきである。持つべき 3 つの機能の内容は薬局を対象としているが、医療機関においても求められ、積極的な対応が必要である。調剤は対人業務であり、薬剤師は「自身が行った内容をきちんと記録を残す」スキルを身につけることが必須。「お薬手帳」は処方箋受付時に患者との対話の中で、お薬手



帳の患者メモ欄に記載された内容を確認しながら使用するもので、まず薬剤師が「お薬手帳の意義」を再認識する必要がある。薬剤師が調剤において果たす役割についても疑わしい点を確かめた後でなければ調剤してはならなく、疑義照会（対人業務）の記録を診療録にどのように反映させるかが大きな課題。処方箋に従った調剤（対物業務）は事前のプロトコール等で省略される可能性もあるが、将来的にはロボット化される可能性が高い。調剤後の情報提供及び薬学的指導（対人業務）では情報提供及び指導内容に関する記録が求められる。医療職の身分法の成り立ちを考えると「調剤は基本的には薬剤師の業務独占（薬剤師以外の者が「調剤」を行えば、薬剤師法違反が問題となることは当然で再認識する必要がある。（但し書き部分の解釈について議論があるが）医療職における他職種への「指示の可否」を考えると法違反といわれないように、多職種の業務独占の用語を使用せず、自らの身分法で認められた用語を使うことが重要（与薬→薬剤交付準備、配薬→薬剤交付　等）。また保険薬剤師の定義にも触れ、医師は保険医療機関で勤務する場合に保険医であることが求められている。病院薬剤師は「保険薬剤師の登録」義務はないが、定義が変更され「保険薬剤師の登録」もすべからくすべきと考える。医療職の証言拒否権と身分を考えるとこれらの法律において、医療職が列挙されている中で、「薬剤師が抜けている」。これを加えるよう要求しなければ誰も加えようとはしない。院内処方箋の記載事項や署名、押印に関しても私見を述べられ、現在の IT 技術では押印に対応することは可能であり、オーダリングシステムの標準機能とすべきである。さらに「院内処方箋が処方箋ではない」とするならば、病院薬剤師の調剤業務において、薬剤師法 24 条を根拠とした「疑義照会の正当性」は法的根拠を失うことになる。薬剤師が行う医師への「問い合わせ」は 2 種類。23 条（処方箋による調剤）：剤形変更、規格変更、一包化・・等については医師と事前に作成したプロトコールで「医師の同意が得られている」ことは、正確には疑義照会と言わない方がよい。24 条疑義照会は相互作用、重複投与、薬学的知見に基づく疑義・・等に当たる。入院処方箋の「調剤済み」は、実施直前に確認を行うことが調剤済みと考えるべきである（定時+臨時を施用単位にまとめてその単位でチェックを行う必要がある。医療機関の調剤所は「調剤録」を備える規定はないが、調剤済みとなった処方箋を調剤録として保存することは認められており、分割調剤は行わないので処方箋は全て調剤済みとなり、薬局の例にならい「調剤済みとなった（元）処方箋」を綴ったものには背表紙には「調剤録」と表記すべきとも考える。処方箋の保管期間にも規定の差がある。現在の病院薬剤師の幅広い業務内容をみた場合に、薬剤師が存在する医療機関において「調剤所」というのは情けない。「薬局」という用語を使うことには、様々な抵抗があると思われるが、何か良い名称を考慮すべきである。指導義務を考えると「指導」で求められるものは「記録」であり、何時、誰が、誰に、どのような内容の指導をしたかである。薬剤師による医薬品管理を考えると納品から使い切るまで、すなわち使用前、使用時、使用後（患者による管理を含む）を指す。「調剤の概念」から考えれば薬剤師が責任を持つ「医薬品の安全管理」の範囲は、「広義の医薬品管理（薬剤師による管理+薬剤師の指導を通じた患者による医薬品管理）」となることを再認識することが必要。また薬剤師は再包装/加工後の責任を有することを再認識すべきである。エピペン注射液の回収事例を考えるとトレーサビリティを考慮するのは特性のみで良いのか？法は最低基準であることを再認識すべきである。薬剤調製とロボット化を考えるとロボットの「適法性」を「原点に戻って」確認する必要があり、IT を利用した薬学的指導のあり方についても「原点に戻って」検討すべきである。薬剤師は医薬品の品質保証を確保したロボットの開発を図ることにより対人業務を中心とした職種となることが求められている。薬剤師が医療安全・チーム医療で果たすべき役割は、「安全・安心かつ良質で適正な薬物療法の確保」につきると述べられた。

通常総会ギャラリー



開会宣言　蛭谷副会長



北澤会長と来賓の方々



朱亀総会議長



脇田新代議員



30 年永年会員表彰者



学術会員表彰　宮崎先生

会長挨拶

通常総会会長挨拶

富山県病院薬剤師会会長
北澤　英徳

昨年度富山県病薬は、富山県が推進する２つの事業に参加・協力することとなりました。1つ目は、富山県商工労働部と富山県新世紀産業機構が、付加価値の高い医薬品開発を目標に企画する「医薬品関連産業活性化促進事業」です。富山県内の製薬企業、医薬品関連企業などが多く参加していますが、異なる業種間での意見交換会などが開催されますので、皆様方の参加・協力をお願いいたします。また、今年３月には、富山県厚生部くすり政策課を中心に、国立成育医療研究センターをはじめ、富山大学、富山県立大学、富山県薬業連合会、富山県薬剤師会との間で「小児用医薬品の開発促進に係る連携協力」の協定を締結したところです。こちらも、意見交換会などに参加・ご協力をお願いいたします。このような富山県内での産官学の連携とともに、今後の地域包括ケアを推進していくためには、富山県薬剤師会との間でも「薬薬連携」のさらなる推進が求められています。富山県が主導する「薬薬連携推進会議」も今年で５年目を迎え、各医療圏で継続的な研修会などが実施されています。今後ますますの発展と質の向上が望まれますので、各医療圏の皆様方のご尽力をお願いいたします。



さて、最近の病院を取り巻く話題としては、「地域医療構想」と、2018年度の、介護報酬・診療報酬の同時改定が注目されます。まだ全体像は不明ですが、大きな改定になることは間違いないと思われますので、柔軟に対応していかねばなりません。これまでの医療分野の改定においては、平成24年以降『効率的かつ質の高い医療提供体制の構築』と『地域包括ケアシステムの構築』が２本柱として進んでいます。効率的かつ質の高い医療提供体制の構築にあっては、高度急性期、急性期、回復期、慢性期などの区分はあるものの、病棟に薬剤師を配置することが今後ますます望まれてくると思われます。

幸いにも富山県病薬に、今年は32名の新入会員を迎えることができました。薬剤師の病棟常駐体制については、「鶏が先か、卵が先か？」の議論もあるかとは思いますが、薬剤師不足で病棟に薬剤師を配置できない状況から早く脱却していかねばなりません。そのためにも病院を志向する薬学生を育てていくことが重要と思います。富山県、富山大学では中高生を対象に薬学部を目指す学生を開拓するための各種企画を実施していますので、富山県病薬も積極的に協力していきたいと考えています。また、本年度から病院実務実習制の病院実習報告会を、実習終了の翌日に口頭発表で、年3回開催することになりました。皆様方の参加と、引き続き実務実習生の受入体制の整備と質の高い実習をお願いします。富山県病薬でも今年の3月に病院薬剤師就職説明会を開催しましたが、今後とも継続して実施し、病院薬剤師の応募を期待したいと考えています。

昨年の会長新任の挨拶でも述べましたが、会員相互の交流や情報交換の場や機会をもっと増やしていきたいと思っています。研修会のスタイルも座学スタイルから参加型、グループディスカッション形式での開催も検討していかねばと思います。そのためにも、富山県病薬会員の皆様方の格段のご支援・ご協力が必要です。

最後に、今後の会員の皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申しあげまして会長の挨拶とさせていただきます。



会員表彰

平成29年度学術会員表彰

厚生連滑川病院　薬剤部　宮崎 徹

このたびは富山県病院薬剤師会の学術貢献賞を頂戴するにあたり、北澤会長をはじめ会員の皆様に深く御礼申し上げます。



私は平成 2 年に富山県厚生連に就職し、平成 11 年からは厚生連滑川病院に勤務しています。滑川病院に着任早々、関節リウマチ治療薬としてメトトレキサートの内服カプセル剤が発売され、医師、理学療法士らとの勉強会での紹介を任じられました。この時、演者をつとめたことが今の私の立ち位置を決定しました。その後、生物学的製剤が相次いで発売され、服薬指導の頻度は急増します。以来18 年間、リウマチ患者の薬物治療と副作用対策で今日まで院内を走り回っております。しかしこの間、多くの有害事象が報告されたこともまた事実です。ここで重要なことは、治療薬の処方時には薬剤師も調剤という形で関与しているということです。これからも副作用の発生は続き、対策が求め続けられます。薬剤師は患者さんが治療薬の最後の 1 回分を内服して排泄されるまで、安全性と有効性を見守り続けるつもりで調剤しなければなりません。

私はそのような気持ちを込めて、メトトレキサートへの葉酸併用の効果、歯周病や喫煙による薬効の変化、基礎疾患を持つ患者さんの症例報告など、臨床業務で得られた経験を少しずつ学会などで報告してきました。現在は日本リウマチ財団の登録薬剤師を拝命し、院内外で微力ながら働かせていただいています。

また同時期より担当していた整形外科病棟では褥瘡や低栄養からくる骨折の対策も求められました。そのため日本静脈経腸栄養学会に入り、平成 17 年の院内の栄養サポートチーム設立にも参加しました。当時から現在に至るまで入院してくる患者さんの多くが脱水と低栄養に陥っています。低栄養、低蛋白血症では薬効も不安定となります。高齢者への多重投薬も社会問題となっています。これらについても現在までわかっていることを数値化し、栄養状態が改善するための方法を探っています。

今年も新人の薬剤師を迎え、私も後進の薬剤師を育成していかなければなりません。これからの若い人たちにも、身近な業務から気づいたことや工夫したことを再現性のある形で数値化して比較し、工夫が生かされているか日々考え発表する、そんな習慣を身に着けていただければと思います。工夫の成果は必ず患者さんへの朗報となります。薬剤師は国民の健康を守る科学者です。国民から期待された職責に応えるために日々努力していただきたいと思います。もちろん私も薬剤師である限り、皆様とともに微力ながら頑張りたいと思います。今日この日があることは薬剤師の諸先生方のご指導、ご理解、ご協力があってのことと改めてお礼を申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

★★

新入会員紹介

★★

今年も、新しく富山県病薬の会員になられた皆様方を紹介します。
お尋ねした内容は以下の通りです。

氏名（フリガナ、敬称略）
① 生年月日
② 最終出身大学(院)
③ 勤務している病院／薬局名
④ 薬剤師を職業に選んだ理由
⑤ 薬剤師以外でなりたかった(またはなりたい)職業は？
⑥ 仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていることは？
簡単に自分を紹介してください。

お忙しい中、ご協力をいただきましてありがとうございました。

藤塚　美咲



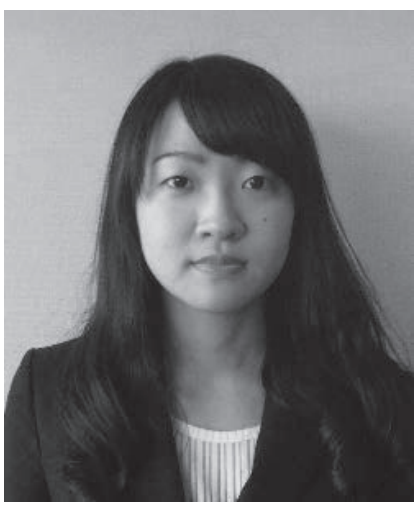
①生年月日：1980 年 7 月 4 日
②最終出身大学（院）：大阪大学大学院
③勤務している病院：富山市民病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：病気で苦しんでいる人の手助けをしたい
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：パン屋さん
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：趣味はテニスです。今年は実業団テニスで全国大会に出場して頑張りたいです。

牧野　慶子(マキノ　ケイコ)



①生年月日：1991 年 9 月 2 日
②最終出身大学：富山大学
③勤務している病院：八尾総合病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：薬の副作用で苦労したことがあり、自分と同じ悩みをもつ人の支えになりたいと思ったからです。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：保育士
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：社会人になり、ヨガを始めました。健康を保つために続けていきたいと思います

竹田　稚菜



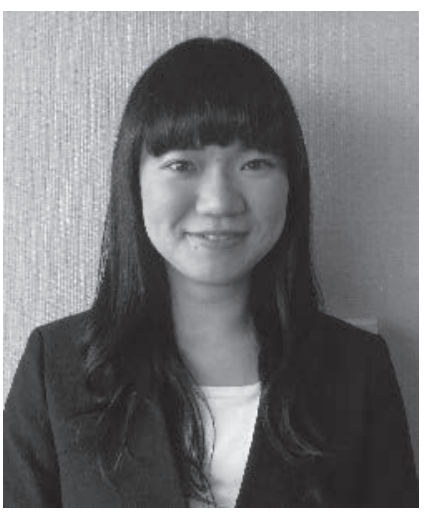
①生年月日：1992 年 10 月 7 日
②最終出身大学：金沢大学
③勤務している病院：富山市民病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：家族が医療従事者で、医療関係の仕事に興味があったから。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：芸能人のマネージャー
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：コンサートに行ったり、スポーツ観戦したりするのが好きです。

林　絵里(ハヤシ　エリ)



①生年月日：1992 年 4 月 3 日
②最終出身大学：京都薬科大学
③勤務している病院：厚生連高岡病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：幼少期から医療に携わりたいという思いがあり、そのなかでも薬に興味があり、薬のことについて詳しく学びたかったため
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：建築家
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：中学、高校の時に打ち込んでいた部活でクラリネットを吹いていたので、楽器演奏全般が得意です。

新家　由莉(アライエ　ユリ)



①生年月日：1992 年 11 月 12 日
②最終出身大学：同志社女子大学
③勤務している病院：済生会富山病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：母が薬剤師として働いている姿を見て良いなと思ったからです。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：病理医
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：今は仕事に追われていますが、もう少し余裕ができたら自分磨きにいろんなことに挑戦し、公私とも充実するよう頑張りたいです。

小川　紗知（オガワ　サチ）



①生年月日：1993 年 1 月 11 日
②最終出身大学：北陸大学
③勤務している病院：公立南砺中央病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：中学生の時に薬剤師の職業見学をしたことがきっかけで、薬剤師に興味を持ちました。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：パン屋さん
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：
健康な体づくりのため、できるだけ体を動かすように意識しています。また、人との会話は大事にしています。

二日市昂太（フツカイチコウタ）



①生年月日：1991 年 6 月 6 日
②最終出身大学：富山大学
③勤務している病院：富山県立中央病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：患者さんの質問に対して何でも答えられていた姿に感動したから。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：警察官
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：学生時代剣道や弓道などを経験してきたので、休日は偶に練習しています。

植竹　絢子（ウエタケ　アヤコ）



①生年月日：1985 年 4 月 26 日
②最終出身大学（院）：信州大学大学院
③勤務している病院：富山大学附属病院
④薬剤師を職業に選んだ理由:幼い頃に身内から薬の副作用の体験を聞き、薬を使用する方々が安全に治療を受ける手助けをしたいと思ったから。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？:理科か国語の先生
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：
身近な人の「良いな」「素敵だな」と思うところを尊重して自分も常に学んでいこうと心がけています。新しい環境で色々な方とお会いできる事が楽しみです。これからよろしくお願いします。

金田　英亨（カネダ　ヒデアキ）



①生年月日：1989 年 5 月 22 日
②最終出身大学：富山大学
③勤務している病院：富山県立中央病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：薬で病気が治ったり体が楽になることに興味を持ったから。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：youtuber
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：幼いころから競泳をしており、小中と水球をしていました。

蜂谷　美礼



①生年月日：1988 年 12 月 16 日
②最終出身大学：富山大学
③勤務している病院：厚生連高岡病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：中学生の職業体験実習で薬局に行き、薬剤師の仕事に興味を持ったからです。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：バンドマンです（笑）
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：
長野県から大学進学を機に富山に来ました。趣味はスキー、音楽、釣り、野球観戦…と広く浅くです。オリックス・バファローズのファンだと言うと驚かれます。
最近、大学の後輩の影響でランニングを頑張っています。まだまだ長い距離は走れませんが、目指すは富山マラソンです。仕事も私生活も元気に頑張りたいと思います。
今後ともよろしくお願いいたします。

太田　萌子(オオタ　モエコ)



①生年月日：1989 年 12 月 21 日
②最終出身大学：武蔵野大学
③勤務している病院：富山大学附属病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：祖父が薬剤師で、薬剤師として働いていた話を聞いてなりたいと思った。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：絵本作家
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること:結婚を機に埼玉県から富山県へ引っ越してきました。富山に慣れること、料理のレパートリー増やしを頑張っています。よろしくお願いします。

田原　光



①生年月日：1991 年 7 月 2 日
②最終出身大学：富山大学
③勤務している病院：富山赤十字病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：きっかけは母親からの勧めです。そこから自分が身近な薬のことをあまりにも知らないことに気付き薬剤師という職業に興味を持ちました。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：大工などの職人にあこがれていた時期がありました。
⑥仕事以外で頑張っていること、得意なこと、大切に思っていること：
薬に関係のない情報でも自分の知識の幅を広げられるものであれば収集するということを大切にしています。情報収集は主にテレビなので言ってしまえば雑学好きで、「へぇー！」と思える瞬間が大好きです。

北川　佳奈



①生年月日：1993 年 3 月 1 日
②最終出身大学：金沢大学
③勤務している病院：富山県立中央病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：私が幼い頃、祖父が売薬の仕事をしており、薬に関係する仕事に興味をもったため
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：保育士
⑥仕事を以外でがんばっていること、大切に思っていること：仕事以外の趣味をもつことを大切にしようと思っています。最近ヨガを始めたのでこの先も長く続けていきたいです。

野尻　雅人



①生年月日：1989 年 3 月 1 日　生まれ
②最終出身大学：静岡県立大学
③勤務している病院：厚生連高岡病院
④職業に選んだ理由：薬に興味があったから
⑤薬剤師以外でなりたかった職業：電車の運転士
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：サイクリング、ドライブ、カフェめぐり

坂東　初音(バンドウ ハツネ)



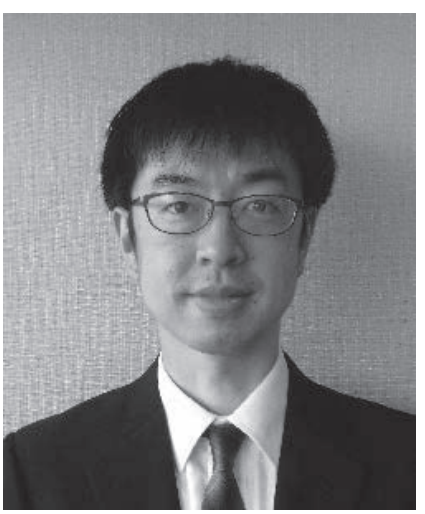
①生年月日：1992 年 8 月 13 日
②最終出身大学：近畿大学
③勤務している病院：厚生連高岡病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：幼少期からくすりに関心があり、目指すなら専門家がいいと思っていたので。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：広告(特にポスター)のデザイナーになりたかった時期がありました。
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：
薬剤師としてだけでなく運転のほうも新人なので、自動車で行動できる範囲を少しずつ広げる練習中です。どちらも早く一人前になれるよう頑張ります。

中曽根　美香



①生年月日：1987 年 8 月 13 日
②最終出身大学：北海道薬科大学
③勤務している病院：厚生連高岡病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：実家が祖父の代から薬局を営んでおり、薬剤師という職業が常に身近にたったため。
⑤薬剤師以外でなりたかった(またはなりたい)職業は？：プロテニスプレイヤー
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：地元長野から富山に引っ越してまだ数か月なので、早く富山での生活に慣れられるよう頑張っています。料理が好きなので、富山の新鮮なお魚を美味しく料理できるようになりたいです。

林　克紀



①生年月日：1980 年 6 月 16 日
②最終出身大学：大阪薬科大学
③勤務している病院：済生会富山病院
④薬剤師を職業に選んだ理由:大学で学んだことを生かしたかったため
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：特になし
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること:ランニングなど健康に気をつけています。

深井　美乃梨



①生年月日：1993 年 1 月 13 日
②最終出身大学：新潟薬科大学
③勤務している病院：市立砺波総合病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：薬がどのように効くか興味があったから
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：なし
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：美味しいお店、お酒を求め、あちこち旅行へ行くのが好きです。旅先のハプニングも良い思い出です。とにかく何事も楽しんだもん勝ち！と思っています。楽しむためにも仕事を一生懸命に思いやりをもって人に接し、何か少しでも人のためになれればと思います。

前田　志帆



①生年月日：1992 年 6 月 16 日
②最終出身大学：北陸大学
③勤務している病院：金沢医科大学氷見市民病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：化学が好きで薬に興味があったため。また、医療に携わりたかったが血が苦手なため。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は：看護師
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：料理が上手くなるように頑張っています。健康のため、朝の豆乳青汁は欠かせません。
　体力がないのが悩みなので、健康のためにもこれから少しずつ運動していきたいです。

小川　純輝



①生年月日：1987 年 11 月 9 日
②最終出身大学：兵庫医療大学
③勤務している病院：富山市民病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：自分自身が子供のころから病弱で薬に助けられることが何度もあり、薬との関わりが身近であったため
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は：システムエンジニア
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：料理

太田　健吾



①生年月日：1991 年 5 月 10 日
②最終出身大学：東京薬科大学
③勤務している病院：富山市民病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：多種多様化する医薬品の専門家として地域医療に貢献したかったから
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は：薬剤師一筋です
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：野球をするのも観るのも好きです

高嶋　祐美



①生年月日：
②最終出身大学：金沢大学
③勤務している病院：富山市民病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：医療従事者に憧れて…が始まりです
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：養護教諭になりたかった
⑥子供の成長が大切なことです。小矢部に越したばかりなので小矢部探検頑張ろうと思います

秋川　千晴（アキガワ　チハル）



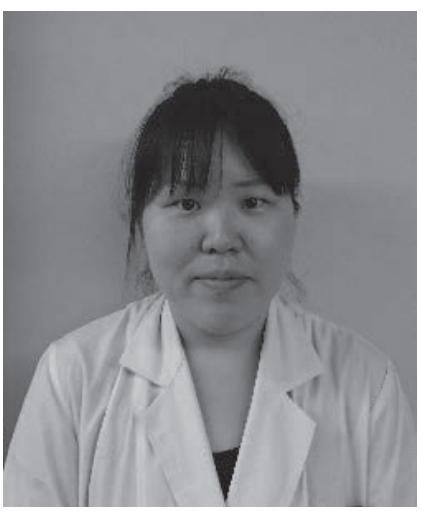
①生年月日：1992 年 12 月 14 日
②最終出身大学：富山大学
③勤務している病院：高岡市民病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：医療分野に興味があったため
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：教員
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：社会人合唱団に所属し美術館やホール、公民館など様々な場所で演奏活動を行っています。

小川　紫乃



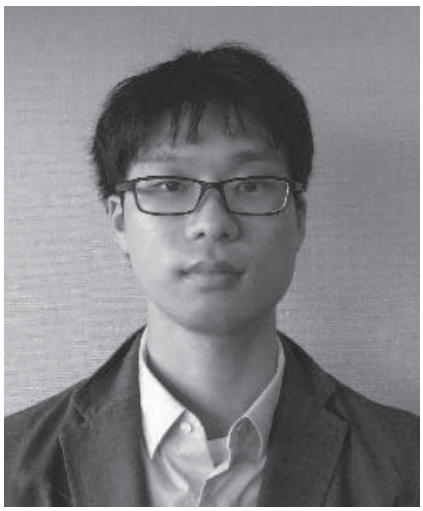
①生年月日：1991 年 2 月 25 日
②最終出身大学：富山大学
③勤務している病院：かみいち総合病院
④薬剤師を職業に選んだ理由:医療現場で働きたかったから。
⑤薬剤師以外でなりたかった（またはなりたい）職業は？：教師
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：
音楽が好きで、中学ではサックス、大学ではドラムをやっていました。
４月からはバドミントンも始めたので、運動不足解消のためにも継続してがんばっていきたいです。

中田　涼子（ナカダ　リョウコ）



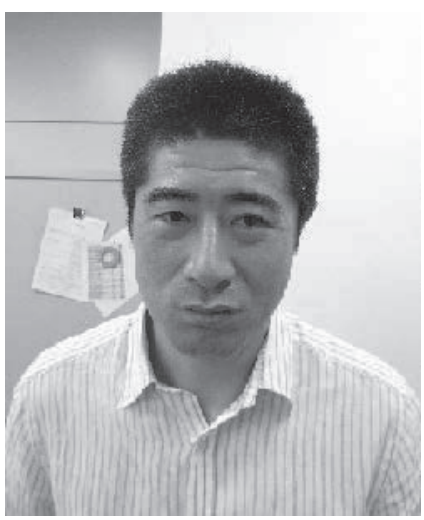
①生年月日：1984 年 6 月 14 日
②最終出身大学：岡山大学
③勤務している病院：富山赤十字病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：薬に興味があり、人と関わる仕事がしたいと思ったからです。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：研究職
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること:大阪から富山に来たので、美味しいお店を探しながら散策し、健康で楽しい生活が送れるように心がけています。

大竹　和弥（オオタケ　カズヤ）



①生年月日：1992 年 3 月 2 日
②最終出身大学（院）：富山大学
③勤務している病院：厚生連滑川病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：
医療職に就きたいと考えており、薬学という学問分野にも興味があったため。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は？：医師、臨床検査技師
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：高校、大学とオーケストラに所属していました。現在は、仕事を覚えることに精一杯ですが、余裕ができれば演奏活動を続けていきたいと考えています

山下　徹



①生年月日：1971 年 6 月 5 日
②最終出身大学（院）：
北陸大学薬学部大学院修士課程修了
③勤務している病院：金沢医科大学氷見市民病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：化学が好きだったから。
⑤薬剤師以外になりたかった職業は？：一次産業に関わる職業
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：
趣味は体を動かすこと、美味しいものをたべること、家庭菜園等です。こちら氷見に異動して新鮮な魚介類や氷見牛を堪能しています。

木南　志朗（キナミ　シロウ）

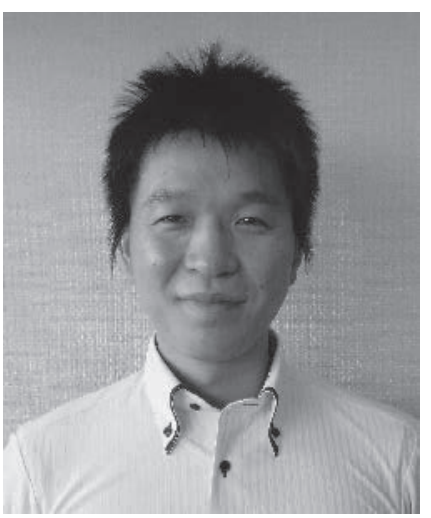
①生年月日：1965 年 8 月 22 日
②最終出身大学：昭和薬科大学
③勤務している病院：富山労災病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：職業適性ツールで 2 位だったから
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は：ミュージシャン
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：単身赴任のため、生活が乱れないように注意したいです。

内山　弘子（ウチヤマ　ヒロコ）

①生年月日：1978 年
②最終出身大学：東北薬科大学
③勤務している病院：富山労災病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：要資格で当時就職に困らない職業にと思った時に、昔病院の薬局で薬をもらった時のことを思い出したから
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は：研究職
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：今年中に旅行で都道府県制覇を達成すること（あと一県）

大后　康也

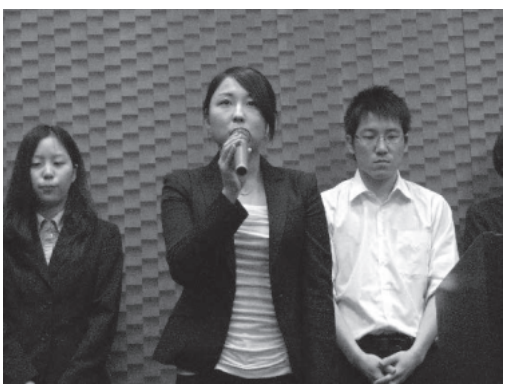
①生年月日：
②最終出身大学：
③勤務している病院：おおやま病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：
⑤薬剤師以外でなりたかった職業は：
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：



新入会員の皆さん（通常総会）











持田製薬 がん領域の製品ラインナップ

MOCHIDA ONCOLOGY

抗悪性腫瘍剤　毒薬、処方箋医薬品注)　薬価基準収載

オキサリプラチン点滴静注液 200mg/40mL「ホスピーラ」

（オキサリプラチン・注射液）

製造販売元（輸入元）:ホスピーラ・ジャパン株式会社

代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤　劇薬、処方箋医薬品注)　薬価基準収載

ゲムシタビン点滴静注液 200mg/5.3mL 1g/26.3mL「ホスピーラ」

（ゲムシタビン塩酸塩・注射液）

製造販売元（輸入元）:ホスピーラ・ジャパン株式会社

抗悪性腫瘍剤　毒薬、処方箋医薬品注)　薬価基準収載

オキサリプラチン点滴静注液 50mg/10mL 100mg/20mL「ホスピーラ」

（オキサリプラチン・注射液）

製造販売元（輸入元）:ホスピーラ・ジャパン株式会社

抗悪性腫瘍剤　毒薬、処方箋医薬品注)　薬価基準収載

パクリタキセル点滴静注液 30mg/5mL 100mg/16.7mL「ホスピーラ」

（パクリタキセル・注射液）

製造販売元（輸入元）:ホスピーラ・ジャパン株式会社

タキソイド系抗悪性腫瘍剤　毒薬、処方箋医薬品注)
日本薬局方　ドセタキセル注射液　薬価基準収載

ドセタキセル点滴静注液 20mg/2mL 80mg/8mL 120mg/12mL「ホスピーラ」

製造販売元（輸入元）:ホスピーラ・ジャパン株式会社

抗悪性腫瘍剤　劇薬、処方箋医薬品注)　薬価基準収載

イリノテカン塩酸塩点滴静注液 40mg 100mg「ホスピーラ」

（イリノテカン塩酸塩水和物・注射液）

製造販売元（輸入元）:ホスピーラ・ジャパン株式会社

代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤　劇薬、処方箋医薬品注)　薬価基準収載

ゲムシタビン点滴静注用 200mg 1g「ホスピーラ」

（ゲムシタビン塩酸塩・凍結乾燥注射剤）

製造販売元（輸入元）:ホスピーラ・ジャパン株式会社

G-CSF製剤　処方箋医薬品注)　薬価基準収載

フィルグラスチムBS注 75μg 150μg 300μg シリンジ「モチダ」

（フィルグラスチム（遺伝子組換え）[フィルグラスチム後続1]・注射液）

製造販売元:持田製薬販売株式会社

注）注意－医師等の処方箋により使用すること

※「効能・効果」、「用法・用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」等の詳細は添付文書をご参照ください。

販売<資料請求先>
MOCHIDA
持田製薬株式会社
東京都新宿区四谷1丁目7番地
0120-189-522（くすり相談窓口）

2016年7月作成

講演会報告

文部科学省平成 28 年度科学技術人材育成補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」

富山から世界へ～女性研究者の視点から～報告

富山逓信病院薬剤部
今村　理佐

平成 29 年 3 月 18 日（土）に富山大学黒田講堂にて、標記公開講座が開催されました。この公開講座は、富山大学から次世代の科学者へ夢を伝えることを目的として、オーガナイザーの富山大学大学院医学薬学研究部(薬学)新田淳美教授を始め、5 名の理系女性研究者が講演されました。演者は各分野で活躍されている方々ばかりで、その講演内容も盛りだくさんでしたのですべてを紹介することはできませんが、以下に概略を報告します。



最初の演者は、新田教授の共同研究者でもあるグラッツ大学（オーストリア）Juliane Bogner-Strauss 准教授で、「キャリアとファミリー～両立させるための方法～」と題して講演されました。3 人の母でもある演者が、オーストリアで両親・家族・上司・大学からサポートを受けることにより、現在のキャリアを得ていることを説明されました。その中で、うらやましいなと感じたのは、6 ヶ月から 15 歳までの子どもたちを預かってくれるデイケアが大学により提供され、1 年中 7 時から 19 時まで開かれているとのことでした。そのデイケアでは多様性、自然・技術科学に焦点をあてて教育も行われ、将来学生として入学すること、要するに学生勧誘の役割もあるとのことでした。このような環境で、演者は 8 時から 17 時(遅くとも 18 時)までしっかり仕事(研究)をすることができたそうです。医療関係者ではこのように時間を決めて働くことはできないことは理解していると話され、それでも休みは家族と一緒に楽しみ、充電することにより働くことができるのではないかと提案されていました。恵まれた環境と思われましたが、所属

する大学の女性教授はまだ５％にすぎず、大学やオーストリア政府により女性の地位を上げるようさらなるサポートが模索されていると述べられました。

2 人目の演者は、富山大学生命科学先端研究支援ユニットの庄司美樹准教授で、「私たちの生活と放射線」として講演されました。演者は、アイソトープセンターの職員として 2011 年に発生した東日本大震災に伴う福島原発事故を契機に放射線の安全管理を含めた情報発信に努めておられるとのことでした。

3 人目の演者は、富山大学大学院理工学研究部機械工学専攻の松島紀佐教授で、「新しい飛行機に夢を乗せる研究」と題して、数値流体力学を用いた飛行機の主翼設計に関わる研究について講演されました。結婚後、海外留学・単身赴任を経験しながら work（研究）を続けていることを、JAXA の飛行実験映像も交えながら熱く語られました。

4 人目の演者は、富山大学附属病院小児科の平岩明子先生で、「臨床医として研究すること」と題して、現在 3 歳のこどもを持つ母親である演者が、臨床医と研究者を掛け持ちしている様子を述べられました。医療の世界では、こどもの送迎・病気などを理由に、現場を離れるのは難しく、両立させるための方法として、時間的に余裕がもてる大学院生の道を選択されたとのことでした。

5 人目の演者は、新田淳美教授で、薬剤師として、医療現場の問題点を遺伝子改変動物モデルとして確立し研究することにより、臨床現場にフィードバックすることを目標に研究を進めておられることを、様々な研究例を基に述べられました。



今回の公開講座は、主としてこれから女性研究者を目指す高校生や大学生を対象としていましたが、私たち女性薬剤師にとっても、ワークライフバランスを考え、目標を追い求めることにより幸せなゴールが導き出されることになると勇気づけられた講演会でした。

6年制実務実習

改訂コアカリキュラムでの臨床前実習

富山大学大学院医学薬学研究部（薬学）・薬物治療学研究室　新田淳美

平素より、富山大学薬学部の教育へのご理解・ご支援を賜り、心より感謝致します。今年度の実務実習1期も充実して無事すすんでいるのも先生方のご指導のおかげです。毎日の実務実習の日誌の記載に、「何を学び、何を勉強し、どのような点が自分に不十分だったか、到達度合いの自己評価はどの程度か」「患者さんと接した時、薬剤師としてどのような介入ができたのか」をより詳細に書くように今年は指導しました。そのこともあり、本年度は、学生に大変、多くの経験をさせていただいていることを、日誌を通じて、例年以上に目のあたりにさせていただいています。

平成 31 年度から改訂コアカリ下での実務実習を各病院・薬局へお願いしているところですが、大学で実施する臨床前実習（現在は、事前学習と呼ばれているもの）にも新たな項目が導入されることとなりました。臨床前実習は4年生で実施されることから、次年度30年度からが本格実施となります。このような状況下ですので、私の研究室での新規担当項目を昨年度から段階的に導入しています。昨年は、糖尿病患者への血糖値自己測定やインスリン自己投与の指導、喘息吸入薬の吸入方法、抗がん薬混注のためのガウンテクニックの演習を実施しました。自己投与や喘息薬の吸入方法は、実務実習を終えた 5 年生がチューターをしてくれました。実務実習終了直後の 5 年生の学生は、どのようにしたら患者さんにきちんと伝えることができるかを一生懸命、説明しているのですが、患者さんに接したことのない4年生には、ピンとこないようで、実務実習を介しての1年の成長の大きさを私たちも感じることになりました。今年29年の秋の事前学習では、静脈注射や筋肉注射についてシュミュレーターを用いて体験させる予定です。実体験することで、色々な投与法への理解を深め、処方提案等へ役だたせることが目標です。一方で、我々、教員側も注射打ち方を教えるのは初めてのことですから、看護学科の先生に相談をしたり、シミュレーターを購入したりとしています。注射の実技を実施・マスターすることが目的ではなく、医薬品の適正使用や患者さんの負担軽減につながるよう、薬学部ならではの内容になるようにと教室員で工夫をしているところです。

このように注射をするためのシミュレーターを本学に設置することから、地域の薬剤師の先生方にも使用いただく機会を作れればと思っているところです。やや別件になりますが、文部科学省が本年から 3 期目を開始した「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン http://www.mext.go.jp/a_menu/　koutou/iryou/1386945.htm へ北陸・信州地域から金沢大学を中心として申請をした「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」の採択通知が最近ありました。本年の夏以降に薬学系大学院生と薬剤師の先生方を受講生とした地域医療やゲノム医療の講義および演習を富山大学で開催する予定です。その折に、上述のシミュレーターの使用も含めて、ご案内できればと考えています。演習や講義の内容などへの、ご要望等がありましたら、お知らせくださいましたら幸甚に存じます。

富山県病院薬剤師会の先生方には、実務実習やがんプロはじめ多くのことで、今後とも、お世話になりますが、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

ICT薬剤師業務の紹介（消毒薬への関与を中心に）

金沢医科大学氷見市民病院
加藤 貴子

今回は中規模病院の ICT 薬剤師業務の一部をご紹介したいと思います。まず最近の主な活動を振り返りたいと思います。そして今年度は「消毒薬」をテーマに取り組み中なのでそれに関連して消毒薬の基本を確認し、最後に「ルーチン業務の工夫」と「今考えている事」を記述します。

＊最近のテーマ・・・

2014～2015 年度にかけては施設内常備を（予算の関係で）躊躇していた「針刺し事故等による HIV 曝露事故後の感染予防薬（抗 HIV 薬）」の調達問題でした。当初は施設内の問題として取り組み始めましたが、問題の背景や核心を理解された諸先生方の働きかけがあり、病院薬剤師会感染制御委員会や県、HIV 診療拠点病院の医師、HIV 専門薬剤師の諸先生方が本格的に問題解決に関わってくださいました。行政（県）主体の「針刺し等による HIV 曝露事故対策に係る意見交換会」が数カ月ごとに開催され、最終的に現在、県内医療機関を対象にした HIV 予防薬供給のための「富山県 HIV 感染予防薬整備要領」が県ホームページにアップされることになりました。（ご確認された方も多いと思います。）この場を借りて改めてお力添え頂いた方々に感謝申し上げます。

2016 年度は周術期抗菌薬の予防投与でした。「術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン」が日本感染症学会/日本化学療法学会から出たのを受けて院内マニュアルの関連個所を改訂しました。こちらも、院内の該当診療科医師の方々のご協力のもと院内マニュアルの改訂までたどり着きました。

さて、今年度は消毒薬に関連した院内マニュアルの見直しに、この５月から取り組んでいます。10 年以上感染に関わっていても消毒薬は苦手です。理由は使用の主体が看護師であること、使用現場の知識が十分でないこと、使用シーンが様々で使い勝手を考慮すると採用品の種類が多くなってしまうこと、（当院の場合）物品として採用供給されているものがあることなどではないかと思います。個人的な感想ですが医師の関心、理解度も低いような気がします。

きっかけは ICT ラウンドで訪問した外来のある部署に、過去に他の消毒薬に置き換えたはずの「クロルヘキシジングルコン酸塩水 R0.05%」があったことです。泌尿器科外来担当看

護師さんと話すうちに適切と言えない使い方をしていると感じました。理由は

1．クロルヘキシジングルコン酸塩は「膣、膀胱、口腔等の粘膜面」の使用は禁忌

2．界面活性剤の粘膜使用は避ける（このメーカの場合名称のRは赤を意味し界面活性剤添加製剤であると注意喚起しています）

今回は粘膜そのものへの使用ではないので一概に不適切使用とは言えませんが、カテーテル等の挿入により消毒薬を粘膜面まで押し込む可能性が考えられます。

「泌尿器科領域における感染制御ガイドライン」では尿道（膀胱）カテーテル挿入時の外尿道口周囲消毒として「ポピドンヨード10%」が記載されています。

他施設（県内外20施設）の状況を調査したところ「ポピドンヨード10%」使用が18施設、「ベンザルコニウム塩化物0.025%」使用が5施設、「クロルヘキシジングルコン酸塩0.02%」使用が3施設でした（細かいところで使い分けがあるため重複回答あり）。当院の病棟では「ポピドンヨード10%」の使用が病棟看護部マニュアルに記載されています。しかし外来診療科はマニュアルから外れており、医師の要望（下着への色移りを避けたい）を受けて使用薬剤が変わってしまっていたようです。

消毒薬がヒトに使用される場面は3つあげられると思います。

1．医療者の手指の通過菌、常在菌を減らすための消毒（主にアルコール）

2．汚染された創、口腔等の菌を除去、または減らすための消毒（部位によってクロルヘキシジングルコン酸塩やオキシドール、ポピドンヨードなど）

3．皮膚等の菌を無菌組織へ押し込まないようにするための消毒（主にアルコールやポピドンヨード、場合によってはクロルヘキシジングルコン酸塩）

また消毒薬は環境や器材・物品にも使用されます。（環境消毒は必要な場合のみ実施）

環境：接触頻度が高い環境面（ドアノブなど）は70%アルコール

血液、体液、吐物で汚染された局所は0.1～1%次亜塩素酸ナトリウム

器材・物品：使用目的により3つのカテゴリに分類し使い分けます。

＊クリティカル器具（手術用器具など無菌の組織や血管に挿入するもの）は
滅菌、または滅菌製品の単回使用。（できない場合に限り高水準消毒）

＊セミクリティカル器具（粘膜または健常でない皮膚に接触するもの）
高水準消毒。（中水準消毒で良いものもある）

＊ノンクリティカル器具（健常な皮膚とのみ接触するもの）
高度な汚染、接触予防策下にあるとき以外は基本的に不要。

実施する場合は一般的に中水準～低水準消毒または洗浄のみ

消毒薬は３つの水準に分けて考えます。

高水準消毒薬：過酢酸、フタラール、グルタラールなど

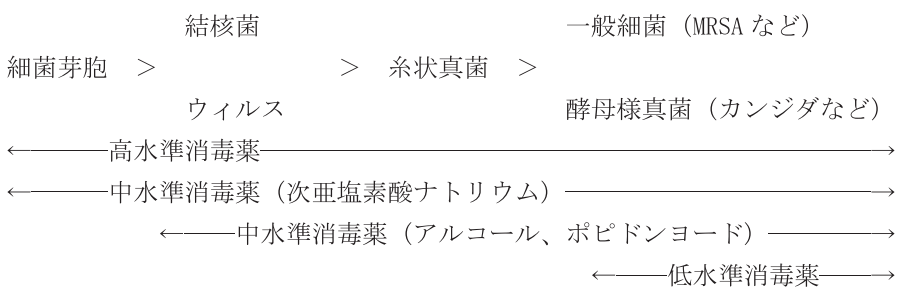
幅広い抗菌スペクトルを持つ。主な対象は内視鏡等の器具

毒性も強く消毒時の曝露や、消毒後の器具への残留にも注意が必要

中水準消毒薬：ポピドンヨード、アルコール、次亜塩素酸ナトリウムなど
ポピドンヨード、アルコールの対象はヒト、

ポピドンヨードは粘膜へ使用できるが、体腔内（除く膣）使用は不適
アルコールは器具、環境（局所）へも使用できる
次亜塩素酸ナトリウムの使用対象は器具、使用者は手袋着用
使用濃度と使用時間、有機物による失活に注意が必要
低水準消毒薬：クロルヘキシジングルコン酸塩、ベンザルコニウム塩化物、
ベンゼトニウム塩化物、両性界面活性剤
対象はヒト、環境
ヒトに使用する場合は濃度に注意が必要
抗菌スペクトルが狭い
その他の消毒薬：アクリノール、オキシドール、トリクロサン、ホルマリンなど

消毒薬と微生物の感受性を対比する簡便な図を紹介します。かなりざっくりしたものなので、参考にし、事例ごとに慎重に検討する必要があると思います。

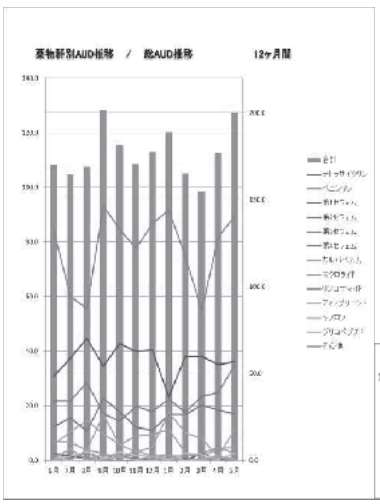


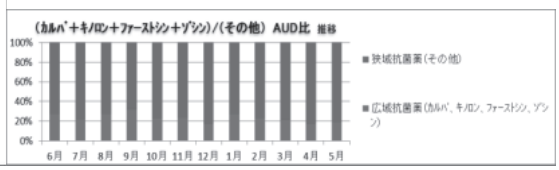
芽胞菌の代表の CD（クロストリジウムデフィシル）は芽胞の状態では消毒薬に抵抗性が高い菌です。素材などの条件で問題なければ、CD 汚染の環境消毒は 0.1～1%次亜塩素酸ナトリウムを勧めるべきでしょう。しかし、やむを得ずアルコールでの消毒で対応する場合もあります。

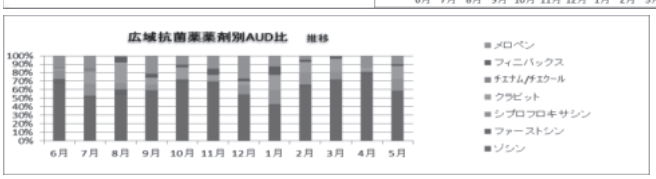
なかには「これしかない」と言い切れる適正使用もありますが、使用シーン（スタッフの状況、使用範囲、使用頻度、消毒後の処置内容、医師の方針）や、対象物の性質（器材の素材、皮膚の状況、アレルギーの有無など）により柔軟な対応が必要で、‘準適正使用‘というものもいくつかあるのではないでしょうか。また施設内の問題（期限切れや開封後期限切れによる損耗の回避、同一成分薬剤の異なった剤型採用は管理が煩雑など）のために剤型（面球タイプ、スティックタイプ、ボトルタイプなど）選択、それに伴って物品、薬剤のどちらで採用するか管理部門は薬剤部か用度課かなどの問題もあります。6 月いっぱいで各部署の配置消毒薬の調査が終わりましたのでこれから、現場をよく知る各部署の担当看護師、院内感染のキーパーソンの 1 人である認定看護師 ICN との共同作業（聞き取り→マニュアル化）に入ります。

＊ルーチン業務の工夫・・・

ルーチン業務のひとつとして院内感染対策委員会（ICC）への毎月の報告が挙げられますが、ICC への報告様式を今年度から変更しました。総 AUD の推移に加え、一般的に広域抗菌薬とされているものとそうでない薬剤との AUD 比の推移、そして広域抗菌薬の中での各薬剤の AUD 比の推移の報告としました。（結局は個々の症例に合った適正使用が一番重要で、抗菌薬適正使用ラウンドのような活動の集大成・結果としての AUD なのですが）施設としての抗菌薬使用状況をどう把握し、解析、評価していくのか試行錯誤しています。







＊今考えている事・・・

調剤業務をしていて、感冒症状の 40～50 代の健常人（会社勤めしていそうな人）に 1 日 1 回服用のメジャーなニューキノロンや第三世代セフェムの内服薬処方に出会うことがあります。しかし処方医に対してはっきりした態度で臨めず納得しないまま調剤することがあります。

昨年、政府が出した「薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン（2016-2020）」に基づき具体的な手引書が公表されています。その中で私たち薬剤師が関与するものとして「抗微生物薬適正使用の手引き　第一版」が挙げられます。その中で日本における抗微生物薬使用量（処方販売量）において人口千人あたりの抗菌薬の 1 日使用量を提示していますが、その 92.4%が経口抗菌薬であるとの報告を紹介しています。この手引書の対象は外来診療を行う医師で、想定する患者群は急性気道感染症及び急性下痢症の患者（学童期以上）となっています。この中では適正使用されていないものを「不必要使用」と「不適切使用」に大別しています。

そして「感冒に対しては抗菌薬投与を行わないことを推奨する」「迅速抗原検査又は培養でA群β溶血性連鎖球菌が検出されていない急性咽頭炎に対しては抗菌薬投与を行わないことを推奨する。」など具体的な表現があります。院内でこの手順書を紹介することから始め、まず「不必要使用」続いて「不適切使用」の回避への組織的な取り組みができるのではと考えています。

ICT 薬剤師業務は、外来診療科・病棟、そして他施設との交流などエリアとして広く、対象の薬剤も抗菌薬・抗真菌薬・抗ウィルス薬、ワクチンを含む予防薬、今回取り上げた消毒薬などがあり、それに伴って関係するスタッフも多職種になってきます。関係者の協力なしでは思うような成果をあげられない、まさに「チーム医療」そのもののひとつと思います。私にとってのチーム（院内に限定しない仲間）の存在は大きく、今回もテーマに困っていた時に厚労省からの「抗微生物薬適正使用の手引き」が出ているというホットな情報を下さった方もいます。(ありがとうございます)

いつまでたっても、日々試行錯誤で体当たりの取り組みばかりの気がしますが、他施設の場合はどうでしょうか？それぞれの課題があるかと思いますが、ICT 薬剤師のみなさんこれからも多職種の中でがんばっていきましょう。また、ICT 薬剤師以外のみなさん、今後もご理解とご協力お願いします。そして興味を持って下さった方は ICT の道へどうぞ、お待ちしております。

参考資料：
各消毒薬の特徴　　（健栄製薬ホームページ）
シチュエーションに応じた消毒薬の選び方・使い方　（じほう社：尾家重治）
Y’Text　5thEdition　消毒薬テキスト　（吉田製薬株式会社：指導小林寛伊）
抗微生物薬適正使用の手引き　第一版　（厚生労働省健康局結核感染症課）

「抗菌薬適正使用のために行っていること」

富山労災病院　高橋 慎太郎

抗菌薬適正使用のために当院で行っている活動について紹介します。

◯TDM が必要な抗 MRSA 薬処方時の PBPM 導入

PBPM（Protocol Based Pharmacotherapy Management）とは、プロトコールに基づく薬物治療管理のことであり、医師・薬剤師が事前に作成・合意したプロトコールに基づき、薬剤師が薬学的知識・技能の活用により、医師等と協働して薬物治療を遂行することとされている。現在各施設で様々な分野で PBPM が実施されているが、当院でも抗菌薬適正使用の一環としてプロトコールを作成した。

抗 MRSA 薬の中でも、バンコマイシン、テイコプラニン、アルベカシンは特定薬剤治療管理料の対象薬剤であり、TDM を行うことは副作用の未然回避のためだけでなく確実な抗菌効果を得るためにも重要である。

当院では図 1〜2 のようなプロトコール（PBPM 管理表）を作成し、院内感染管理委員会並びに医局での承認を得た。下記に PBPM 管理表の当院での運用について示す。

＜初回投与量設計＞

医師は病棟担当薬剤師と協働し、PBPM 管理表をもとに投与量や投与間隔を決定する。その際、病棟担当薬剤師は初期投与設計を実施し ICT 薬剤師とダブルチェックを行う。薬剤師は、オーダリング上の PBPM 管理表に必要事項を入力し印刷した後、医師と抗 MRSA 薬使用の最終協議を実施する。オーダー修正が必要な場合はその都度医師または薬剤師が修正を行う。

＜採血の実施＞

薬剤師は、PBPM 管理表に採血日を記入し、医師と協働する共に看護師に申し送る。看護師は、PBPM 管理表に採血時間、点滴開始時間及び点滴終了時間を記録し、薬剤部へ提出する。

＜結果に基づく投与量再設計＞

薬剤師は血中濃度確認後、投与量の再設計を実施し ICT 薬剤師とダブルチェックを行う。追記した PBPM 管理表及び作成したシュミレーション結果をもとに医師と投与量の再協議を実施する。

当該抗菌薬の使用が長期化する場合や治療に難渋を示す場合は、ICT による症例検討を実施する。

MRSA 感染症治療プロトコルに基づく薬物治療管理

富山労災病院 院内感染対策委員会 Ver.1

ID		氏名		生年月日	
診療科		医師		作成日	

抗 MRSA 薬使用手順

医師は太枠の□にチェックをして下さい

【薬剤使用時】

CK	項目	備考	担当者
□	1．MRSA による感染症か確認する。	院内感染対策マニュアル 抗 MRSA 薬 投与ガイドライン参照	医師
□	2．抗 MRSA 薬使用の是非と特徴を理解した薬剤を選択する。		医師
□	3．薬剤師は以下に示す必須確認情報より初期投与計画を吟味し、必要に応じて薬剤、投与量及び投与方法について医師と協議する。 **[必須確認情報]** ①年齢 ②性別 ③体重 ④腎機能 ⑤臨床所見 ⑥検出部位と検体の種類 ⑦MRSA に対する MIC ⑧WBC ⑨CRP **[確認項目]** □薬剤の確認 □１回量の確認 □投与間隔の確認	【VCM、TEIC 及び ABK】 初回投与において 専用解析ソフトによるシミュレーションを実施する。 【LZD 及び DAP】 必須確認情報を確認の上 薬剤の妥当性を検討する。	薬剤師
□	4．シミュレーション結果を作成し、ICT 薬剤師と協議を行う。 また、最適な採血予定日時を決定する（裏面参照）。	腎機能に応じた 採血予定日時を決定する	薬剤師
□	5．電子化したデータをオーダリングシステムにアップロードする。 シミュレーション結果について、医師に申し送りを行う。 なお、医師と協議の上で投与量、投与方法、投与期間等の変更があった時は薬剤師がオーダー修正をすることができる。	医師・薬剤師間の 投与量等確認	薬剤師

（裏面６へ続く）

《初期投与シミュレーション結果》…薬剤師記載、医師確認

投与量 点滴時間 （　　分）	１日目		２日目		３日目以降	
	一回投与量	投与間隔	一回投与量	投与間隔	一回投与量	投与間隔
	mg	hr	mg	hr	mg	hr

［シミュレーショングラフや予想トラフ濃度データ添付］

病棟薬剤師	AST 薬剤師

図 1 PBPM 管理表（表）

【初回投与時】

CK	項　　目	備　　考	担当者
□	6. 注射オーダーまたはシミュレーション結果に基づいたオーダー修正を実施すると共に血中濃度測定（採血予定日時）をオーダーする。	薬剤部から特定抗菌薬使用届が薬剤とともに添付されるため記載する。	医師 薬剤師
□	7. 抗MRSA薬使用期間中は、血清クレアチニン値を測定して腎機能を評価する（抗MRSA薬による腎機能への影響を確認）。	LZDやDAPに関しては、血小板等の検査データを確認する。	医師

《血中濃度測定採血ポイント》…点滴採血時間は看護師記載、測定結果は薬剤師記載

採血日	点滴・採血時間	記録者氏名	測定結果
/ （　）	**点滴直前** **※採血時間　　時　　分**		μg/mL
	※点滴開始時間　　時　　分		
	※点滴終了時間　　時　　分		
	点滴終了30分後(バンコマイシン使用時のみ必要) **採血時間　　時　　分**		μg/mL

採血時間を記載した看護師は薬剤部に本用紙を返却すること

【継続使用時】

CK	項　　目	備　　考	担当者
□	8. 予測濃度と実測濃度より投与計画の評価及び再設定（ベイズ推定）を行う。	臨床症状も加味して必要に応じてICTへ相談・協議	薬剤師
□	9. 再設定（ベイズ推定）結果について医師に報告する。	再設定結果を提出	薬剤師
□	10. 再設定結果をもとに協議を行い、投与量や投与方法、投与期間の見直しを行う。なお、協議の上で変更があった場合は薬剤師がオーダー修正を行うことができる。	プリントアウトしたベイズ推定結果をもとに協議する。なお、LZDやDAPはバイタルや検査所見（血小板等）を確認し、継続の可否を検討する。	医師 薬剤師

《血中濃度測定後のシミュレーション結果》…薬剤師記載、医師確認

投与量変更の必要　　有り　　無し　　［投与量の変更が必要な場合は薬剤師記載］

CK	項　　目	備　　考	担当者
□	11. これらの結果に基づき、ICTラウンドで必要時症例検討を行う。	毎週	AST

病棟薬剤師	AST薬剤師

図2 PBPM管理表（裏）

◯抗菌薬適正使用指針の作成

2017 年 1 月に「院内抗菌薬適正使用指針」を作成した。上記 PBPM の運用手順を含めた届出の必要な特定抗菌薬の運用手順から、各種感染症ガイドラインを当院採用抗菌薬に即して収載している。全 47 ページにわたる抗菌薬適正使用指針は A5 版に製本して全医師・薬剤師などに配布している。

下記に当院の抗菌薬適正使用指針に含めれている内容を抜粋する。

・手術時の予防的抗菌薬投与に関するガイドライン
・敗血症抗菌薬投与ガイドライン（成人）
・市中肺炎（ＣＡＰ）治療ガイドライン
・院内肺炎治療ガイドライン
・尿路感染症　抗菌剤投与ガイドライン
・抗 MRSA 薬使用マニュアル
・バンコマイシン（ＶＣＭ）ＴＤＭガイドライン
・テイコプラニン（ＴＥＩＣ）ＴＤＭガイドライン
・ハベカシン（ＡＢＫ）ＴＤＭガイドライン
・経口バンコマイシン散の適正投与量について

◯特定抗菌薬使用患者の週間報告と月間報告

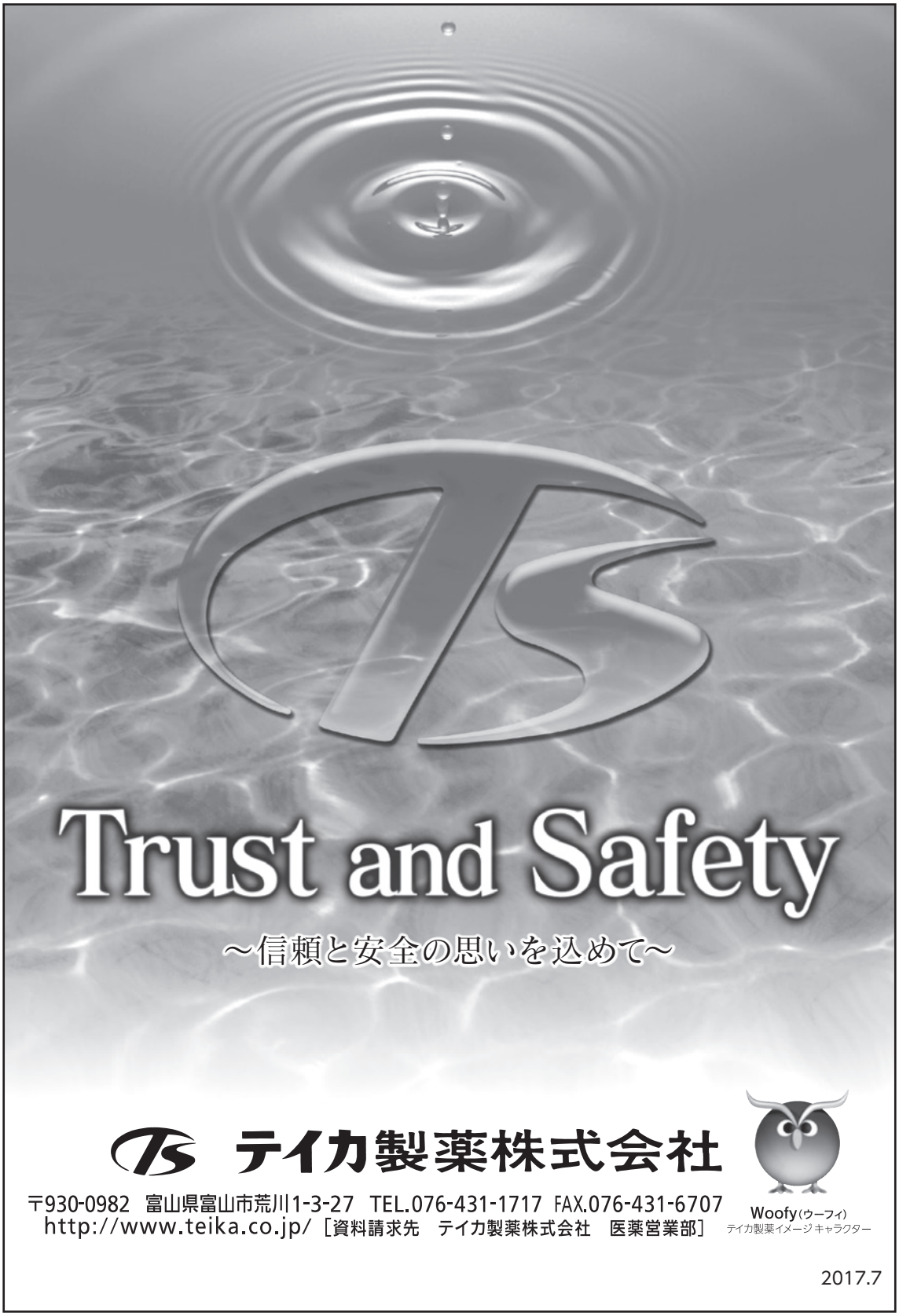
当院では、抗 MRSA 薬とカルバペネム系抗菌薬、ニューキノロン系抗菌薬、第四世代セフェム系抗菌薬を届出の必要な特定抗菌薬としている。特定抗菌薬がオーダーされた場合、ICT 薬剤師が全患者の状況を確認している。確認事項は腎機能等を含めた用量評価、培養の提出状況・結果、使用されるに至った感染症名などであり、投与後の経過も随時把握している。

特定抗菌薬使用患者の経過について、毎週行われる ICT 環境ラウンド後のミーティングで報告し、問題のある症例については ICT としての介入方法を検討している。さらに薬剤部内では、毎週金曜日に行われるチーム回診報告にて同様に症例報告を行っている。

毎月行われる院内感染管理委員会では、前月の特定抗菌薬使用患者一覧を作成し、届出の提出状況や使用患者数/届出提出率の月次推移グラフも含めて報告している。

＜委員会で報告する症例の記載内容＞

病棟、診療科、処方医、性別、年齢、使用抗菌薬名、1 回量、1 日投与回数、開始日/終了日、投与日数、感染症名、培養提出検体、検出菌、併用抗菌薬、届出の有無、TDM を行った場合はトラフ値やピーク値



テイカ製薬株式会社

〒930-0982　富山県富山市荒川1-3-27　TEL.076-431-1717　FAX.076-431-6707
http://www.teika.co.jp/［資料請求先　テイカ製薬株式会社　医薬営業部］

Woofy（ウーフィ）
テイカ製薬イメージキャラクター

2017.7

シリーズ食べ歩き

もちカフェ うさぎ



今回は射水市（旧小杉町）にある、“もちカフェうさぎ”を紹介します。その名の通り、おもちスイーツがいっぱいのカフェです。この季節、というか、お正月以外はあまりお餅を食する機会がないのですが、餅好きの友人を誘い、ランチタイムに行ってみました。



駐車場は約 10 台、狭めです。

ランチメニューはおこわ定食、お雑煮定食、さかな定食の 3 種類、そして夏季限定で「うさぎのサラダうどん」がありました（これらはすべて 1250 円）。



お雑煮定食を注文すると、６つのだしの中から２つ選べるとのこと。お雑煮のだし？「しょうゆ」、「白みそ」、「赤みそ」、「おろし」はともかく、「トマト」、「バジル」といった一見お雑煮に？と思わずにはいられないものもあります。
おススメをうかがうと、人気なのは白みそ、リピート率が高いのはバジルとのこと。というわけで、だしはバジルと白みそに！
厨房は母娘 2 人で切り盛りされているため、少し待ちましたが、その分、期待が高まります。
今回、バジルってお雑煮にも合うんだ、ということが新しい発見でした。リピ率が高いのも納得です。ゴボウやニンジンともしっくり相性がいいのです。そして、白みそ椀には海老も入っていて、素材の味がしっかりと出ています。なにより、お餅がやわらかくて本当においしい！



（左上から）
デザート、メイン、サラダ、小鉢、
お雑煮（バジル）、おこわ、お雑煮（白みそ）

なんといっても基本がおもちなので、お腹がいっぱいになりました。デザートの味は、本日は抹茶に黒みつだそうで、和のテイストでしたが、アセロラを使用するなど、日替わりで提供しているそうです。

パフェやぜんざい、棒もち、串だんごなど、デザートメニューも多彩で、近所のお茶屋さんから調達した紅茶や日本茶、サイフォン式で入れるコーヒーなど、カフェらしくドリンクも充実しています。なお、これからの季節には、かき氷もあるそうです。
今度は、午後にゆったり（カロリーを気にせず（(^^;…）、ほっこりしに来たいなぁと感じました。



近くにお寄りの際は是非、足を運んでみてはいかがでしょうか。どこか懐かしい、そんなカフェで、手作りのうさぎさん達がお出迎えしてくれますよ。

射水市黒河 3341
TEL　0766-54-6613
営業／8：30〜19：00
　　モーニング　　8：00〜11：00（LO 10：30）
　　ランチタイム　11：00〜14：00（LO 13：30）
　　カフェタイム　14：00〜
定休／水曜日（水曜日が祝日の場合、翌日定休日）
駐車場／有

広報委員会より

第 20 回　がん化学療法・緩和ケア研修会

富山県病院薬剤師会は、平成 29 年 3 月 11 日（土）にボルファート富山において第 20 回がん化学療法・緩和ケア研修会を開催した。始めに中外製薬株式会社よりアバスチンに関する情報提供が行われ、その後、一般講演、特別講演が行われた。

一般講演　「抗体創薬技術とバイオ医薬品の将来展望」
中外製薬株式会社　創薬企画推進部　副部長　平田　裕一　氏

バイオ医薬品現状として 80 年代のインターフェロンや成長因子から始まり、第 2 世代の抗体医薬、第 3 世代には核酸、細胞医薬が来るのではないかと予想されている。

これらの発展と共にゲノム解析が進み創薬といえば分子標的薬が作られるようになった。バイオ医薬品の 60%が抗体医薬品で占めるようになったのは、作用時間が長く体に有る物なので毒性が少なく、たいていの物は作ることができる。ただし 80 年代はマウス抗体を使用し副作用も有ったが現在ではヒト化抗体、ヒト抗体が多くを占めている。抗体医薬の作用機序について話されたあと、最新の免疫チェックポイント阻害剤により延命治療から治癒への期待が持てる。副作用については自己免疫疾患や効果がある患者さんは 2-3 割とバイオマーカーの探索も必要となる。

次世代の抗体医薬品として、リサイクリング抗体やスィーピング抗体、バイスペシフィック抗体、TRAB 技術について解説された。新たな潮流としては低分子化により HCV 薬ではリバビリンからハーボニーへエリスロポエチン製剤も開発が進んでいる。また、後発品ではないがそれにあたるバイオシュミラーや核酸医薬も承認が始まっている。

特別講演　「大腸がん治療の現状」
富山県立中央病院　内科（腫瘍）医長　堀田　洋介　氏

がんの罹患率では、大腸がんは男女合わせると第 1 位、死亡率では横ばいから減少傾向である。ステージから見た 5 年生存率はステージⅣで 20%であるが今はもう少し上がっている。原因としてはリンチ症候群などあげられリスクを上げる食品として、飲酒や加工肉をあげられた。大腸がんの発生の機序としてアデノカルチノーマのように段階的な癌化が進むと考えられていたが、近年では腺腫の段階をふまないデノボカルチノーマもある。大腸癌のステージ判定については、大腸のみにあればステージⅠ、Ⅱリンパまで行っているとⅢ、遠隔転移が有るとⅣと単純ではあるが他のがんと違うところは、Ⅳでも手術可能な場合があるということ。延命効果があるので取れる転移もすべて取る、再発があっても再度取る、あるいは化

学療法も考える。化学療法については、術前化学療法、補助、切除不能などがあるが、化学療法を行うことにより手術可能となるコンバルジョンが大腸癌では可能となる。切除不能の化学療法の場合、3 ヶ月毎に評価し切除可能となれば手術、副作用や無効の場合は薬剤の変更を考える。キー薬剤については、FOLFIRI FOLFOX XELOX とあるが、アバスチンの上乗せで効果を上げる。抗ＥＧＦＲ抗体についてはＲＡＳ変移のない野生型のみ使用可能、Ａｌｌ－ＲＡＳ野生型は最も効果が出る。3 次治療では、スチバーガ、ロンサーフなどの使用について話された。最後に免疫チェクポイント阻害剤オブジーボの適応拡大や大腸がんでのキイトルーダによる試験によりミスマッチ修復異常がある症例で 60％の効果をあげている。

第 22 回 富山県精神科薬剤師勉強会学術講演会

平成 29 年 4 月 8 日(土) ボルファート富山において、第 22 回富山県精神科薬剤師勉強会講演会を開催した。はじめに大塚製薬株式会社より「自閉スペクトラム症におけるエビリファイの有用性」について情報提供が行われた後、一般講演および特別講演が行われた。

一般講演「富山県における向精神薬処方実態調査」
かみいち総合病院　薬剤科　高城　正利　先生

富山県における 9 施設を協力施設とし、666 症例を対象に 2016 年の向精神薬処方の実態調査の報告が行われました。患者背景としては平均が 61.1 歳、男女比は差がなかった。

クロルプロマジン換算 (CP 換算)での平均投与量は、富山県で 870.1 mg と全国の 754.5 mg に対して高い投与量であったが、年々と減少傾向である。富山県の投与剤数は平均 2.0 剤で単剤率 38.2％であった。単剤処方使用例のうち、約 95%が非定型抗精神病薬、5%が定型抗精神病薬である。非定型抗精神病薬では、31%がオランザピン、23%がアリピプラゾール、20％がリスペリドンであり、今後アリピプラゾールは後発品の発売で増加していくと予想される。CP 換算値の年次推移は、全国的に減少傾向である。抗パーキンソン薬の投与量はビペリデン換算で、富山県では 1.6 mg であり、平均で 0.5 剤使用されており、全国的に見ると平均投与量は減少傾向である。抗精神病薬単剤使用患者での併用状況は 30％で、平均投与量は 0.8 mg である。持効性注射剤 (LAI)は、定型 LAI が 44 名、非定型 LAI が 37 名で使用されていた。PCP 研究会の論文では、抗精神病薬の単剤率は年々増加傾向にある。病棟別の単剤率は、救急の初診において高く、一般病棟においては低かったと報告された。服薬指導の実施率が低いところでは積極的に介入していく必要があり、CP 換算値で 1000 mg 以上減量することで薬剤総合評価調整加算を算定できることが紹介された。

特別講演「発達障害の薬物療法」
富山県リハビリテーション病院・子供支援センター　小児神経科　本間　一正　先生

小児科において発達障害の診療機会が増えている。昨年度保険適応拡大となった薬剤や、ADHD の新薬発売等の話題を提供された。

子供の発達を見守っていく上で、様々な発達の障害があるが、ここでは特異的発達障害に着目していく。発達障害は、発達障害者支援法という法律により、注意欠如多動症(ADHD)、自閉スペクトラム症(ASD)、特異的学習症(LD)で定義されている。発達障害は育て・しつけの問題ではなく、適切な援助があれば社会生活を送ることができる場合が多いことを理解しなければならない。近年 3~5 歳児の初診患者が増加してきた。

ADHD は、DSM-IV による診断基準において、1) 注意集中障害の項目で学校や家庭等の 2 つ以上の場所で 6 項目以上満たす、2) 多動衝動性の項目で 6 項目以上満たせば、疑いを持つ。ADHD の発症メカニズムは、神経伝達物質ドーパミンやノルアドレナリンの取り込み異常によると考えられている。ADHD に対応するポイントとしては、早期診断(5 歳までに) を行い、ペアレントトレーニングやソーシャルスキルトレーニングを行うことである。行動療法としては少しの努力で達成可能な目標を設定し、達成感を得やすくすることが重要である。薬物療法としては、メチルフェニデート徐放剤(コンサータ) やアトモキセチン(ストラテラ) があり、3 月には新薬(インチュニブ)が承認され本年度中の発売が予定されている。コンサータは、衝動性・緊急性が高い症状に効果があり、集中力が続かない患者にとって有効であるが、脳波異常・食欲低下・体重減少がある場合は回避するべきである。ストラテラは夜間勉強・仕事をするような患者向けであるが、効果判定に 2 か月程度かかることに注意しなければならない。小児への投与は必ず学校と連携を取るべきである。

知的障害はないが読む書く計算するという特定分野が水準よりも明らかに低いことを学習症 (learning disorders, LD) という。文部科学省が定義する学習障害(learning disabilities) は、聞く、話すという項目が追加されているため、自閉スペクトラム症と混同しやすい。LD への対応は確実な早期診断を行い、学習・試験方法や教材の工夫を行う。薬物療法は LD 単独では無効で、ADHD 合併例の場合に行う。学習障害では、ADHD や ASD 等の発達障害を伴うこともある。発達障害は脳の障害でもあるため、てんかん等の脳機能疾患も重なっていることがあり、薬物治療の際には気をつけなければならない。知的障害は、ASD の約半数で合併している。

ASD は原因が不明であり、対人関係の質的障害、コミュニケーションの障害、想像力の障害の特徴を持つ障害である。知覚過敏、食感や見た目による偏食等も見られるので、知覚認知障害の関与も最近は推測されている。ASD では知覚障害を伴ってない場合もあり、特徴として異常なほど限定的なものに熱中する症状が現れることもある。ASD の薬物療法は、多動・衝動性に対してリスパダール (他のリスペリドン製剤は使用不可) とエビリファイのみ保険適用が認められている。

発達障害は、早期診断をし、二次障害を起こさないうちに診断、療育、教育的配慮を行うことが重要である。ASD は 3 歳半、ADHD は 5 歳、LD は小学校 2 年までを健診のめどとし、相談体制の構築や家庭外における支援体制の充実に力を入れていく必要がある。

第 422 回富山県病院薬剤師会学術講演会

富山県病院薬剤師会は、平成 29 年 5 月 27 日（土）ボルファートとやまにおいて、第 422 回富山県病院薬剤師会学術講演会を開催した。はじめに、大日本住友製薬株式会社から「アイミクス」の情報が提供された。その後一般講演と特別講演が行われた。講演の概要を以下に示す。

一般講演「脳卒中予防のための血圧管理について」

富山大学附属病院　神経内科　診療准教授　田口芳治　先生

日本は欧米に比べて脳卒中の発生率が高く、高血圧は脳卒中の最大の危険因子である。収縮期血圧 150　拡張期血圧 90 を超えると脳出血、脳梗塞とも急に発症率が高くなる。血圧管理をすることによって脳出血の 4 割は発症予防できる。

脳卒中予防のための血圧管理目標は、前期高齢者までは 140-90 未満、後期高齢者 150-90 未満、糖尿病患者 130-90 未満、慢性腎臓病患者 130-90 未満、脳血管障害・冠動脈疾患患者 140-90 未満、抗血栓薬服用患者 130-80 未満である。

脳卒中予防の血圧管理に用いられる薬剤は、カルシウム拮抗薬、サイアザイド系利尿薬、ＡＲＢ、ＡＣＥ阻害剤である。糖尿病・慢性腎臓病・心房細動・左室肥大・狭心症患者にはＡＲＢ、ＡＣＥ阻害薬、血圧変動のある人にはカルシウム拮抗剤が勧められる。

生活上の降圧管理としては、塩分 1 日 6ｇを目標とした減塩、野菜・果物・魚等中心の栄養、適正体重、有酸素運動、アルコール節制、禁煙（受動も含む）に注意することである。また、降圧薬の服薬継続のため、患者に降圧の重要性を認識してもらい、家族を巻き込んで家庭血圧を測定したり、服薬アドヒアランス向上のために処方構成を工夫したり、飲み忘れを防ぐための残薬調査・服薬指導・情報提供等において薬剤師と医師が連携強化することが重要と考えている。

特別講演「多発性硬化症／視神経脊髄炎の診断と治療」

富山大学附属病院　神経内科教授　中辻裕司先生

神経内科は脳血管障害、パーキンソン病や脊髄小脳変性症などの神経変性疾患、多発性硬化症や CIDP などの免疫性神経疾患、脳脊髄炎などの炎症性神経疾患、認知症など多彩な疾患を対象としている。

多発性硬化症（Multiple Sclerosisi　MS）は中枢神経系におけるＴ細胞関与の炎症による脱髄巣を特徴とする自己免疫性神経疾患である。初発は 20〜30 代に多く、男性より女性に多い。発病率は欧米白人に高く、また北に行くほど高い。病巣部位により症状は様々だが、よく見られる症状は視力障害、感覚障害、運動障害、疲労、排尿障害、ふるえ、物忘れなどである。環境要因、遺伝的素因が発症に関与するが、日本での発症率がこの 30 年間で急上昇し

たのは環境要因（太陽光・ビタミンＤ・タバコ・感染症・食事の欧米化等）が大きいと考えられる。ＭＳは、治療しないで放置すると病巣があちこちに繰り返しできてＡＤＬが低下する。早期診断・早期治療による再発予防が重要である。詳細な病歴聴取や神経学的診察により時間的・空間的な病変の多発性を証明し、再発を待たないで治療を開始する。薬物療法では、急性期にはステロイドパルス療法、再発防止にはインターフェロンベータ製剤（アボネックス、ベタフェロン）、フィンゴリモド（イムセラ、ジレニア）、ナタリズマブ（タイサプリ）、グラチラマー酢酸塩（コパキソン）、フマル酸ジメチル（テクフィデラ）が使用される。薬剤の特徴と副作用を熟慮したうえで使用薬剤を決定するが、メリットとデメリットを患者に理解できるように説明して、コンプライアンスを高める服薬指導が必要である。より個々に有効な個別化治療を確立させるため、バイオマーカーの研究が始まっている。

視神経脊髄炎（Neuromyelitis Optica Spectrum Disorders：NMOSD）はＢ細胞由来の抗アクアポリン４抗体（抗 AQP4 抗体）によりアストロサイトと神経細胞が障害されるために起こる、主として視神経と脊髄に由来する症状である。ＭＳと同じ疾患群と捉えられているが、有効な治療が異なるので鑑別をしっかりすることが重要である。治療薬は現在のところステロイド剤・免疫抑制剤のみであるが、炎症の機序の観点から効果が期待できる他の薬物療法（リツキサン・トシリズマブ・エクリズマブ）が現在治験中である。

第 423 回富山県病院薬剤師会学術講演会

富山県病院薬剤師会は、平成 29 年 6 月 24 日（土）にボルファートとやまにおいて第 423 回富山県病院薬剤師会学術講演会を開催した。

はじめに、大鵬薬品工業株式会社より「ビラノア錠に関する最新 Topics」の情報提供がなされ、その後、特別講演が行われた。講演の概要を以下に示す。

特別講演Ⅰ　「アトピー性皮膚炎の治療戦略」
富山大学大学院医学薬学研究部　皮膚科学　三澤　恵先生

アトピー性皮膚炎のアトピーとはギリシャ語の atopy からきており、定まらない、奇妙なといった意味合いである。乳児は顔や口のまわりに、ジクジクといった発疹が出ることが多い。幼少期になると体に、乾燥や鳥肌様の発疹が出ることが多い。成人になると、上半身に皮膚が厚くなる、アトピー性赤ら顔、手湿疹といった症状が多くなる。原因としては遺伝的、環境的、アレルギー的、非アレルギー的要因が挙げられる。皮膚バリア障害の原因のひとつとして皮膚の角質を作るときに働く重要な物質で、最後は天然保湿因子となるフィラグリンの遺伝子異常がアトピー性皮膚炎患者の約 30％に見られる。皮膚バリア異常が生じるとアレルゲンの侵入が容易になり、水分の損失が起こり、更に皮膚炎が悪化するという悪循環に陥る。保湿はアトピー性皮膚炎の発症を遅らせるという。アトピー性皮膚炎の治療の三本柱は、炎症制御としてのステロイド外用剤・免疫抑制剤、かゆみを抑える抗アレルギー薬、スキンケ

アとしての保湿剤となる。ステロイド外用薬の使い分けとして、症状の違い・部位によって強さや剤形を使い分ける。副作用として皮膚感染や多毛、ざ瘡、皮膚の委縮、赤ら顔、内出血などに注意が必要となる。タクロリムス軟膏は 822 ダルトンなので、正常皮膚には吸収されないといった特性がある。一過性の刺激感があり、これは神経ペプチドの放出によるものだが、3〜5 日間で神経ペプチドが枯渇すると刺激感がなくなるので、塗り続けることが重要となる。

特別講演Ⅱ　「めまい治療の最前線」

富山大学大学院医学薬学研究部　耳鼻咽喉科頭頸部外科学　將積　日出夫先生

めまいは良性発作性頭位性めまい、メニエール病、前庭神経炎に大きく分けられる。前庭神経炎と偽性前庭神経炎は診断が難しく、head impulse test (HIT)にて異常となるのが前者、正常となるのが後者である。リハビリテーションが推奨される。良性発作性頭位性めまいは傾きを司っている耳石器内の耳石が半規管に入ることで引き起こされる。頭部外傷や長期臥床、メニエール病などが原因となる。特異的頭位治療としてエプリ法がなされる。非特異的治療としてめまい運動がある。正座になり、お辞儀をし、元に戻り、上を向いてさらに元に戻るといった運動を 1 セット 5 往復として 1 日 4 セット行うことで症状を軽減できる。メニエール病は回転性のめまいで、眼振が見られる。ストレス、不眠、加齢が原因と考えられている。難聴とめまいが連動している。発作期には炭酸水素ナトリウム注射液やステロイド、制吐剤、抗めまい薬を使用する。富山大学付属病院ではイソソルビドと苓桂朮甘湯を使用しており、虚実で半夏白朮天麻湯と使い分けている。中耳加圧法や外科的手術もなされている。HIT での実際の動きを動画で紹介していただいた。



まだないくすりを

創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。



明日は変えられる。

astellas

アステラス製薬

www.astellas.com/jp/

役員会議事録

平成 28 年度　第 5 回役員会議事録

日時：平成 29 年 2 月 9 日（木）午後 6 時 30 分から午後 7 時 30 分
場所：富山県民共生センター　サンフォルテ研修室　305 号室
出席者：北澤英徳、小出久仁子、蛭谷一彦、本元浩和、脇田真之、有生明雄、朱亀進司、
浜手ひとみ、村田麻巳子、篠田健一、守内匡、高畑英信、高城正利、高崎京子、
永井伸幸、高木昭佳、村崎善之
委任状：足立伊佐雄、黒崎俊美、堂川嘉久、政氏藤玄、山下岳至、梅津博之、伊藤功治、
吉田英樹
（順不同、敬称略）

（議事内容）
1．前回役員会議事録の確認　一部訂正あり
2. 各委員会活動報告
【学術委員会】
第 420 回　学術講演会　平成 28 年 11 月 19 日（土）　実施　参加者 61 名
第 421 回　学術講演会　平成 29 年　2 月　4 日（土）　実施　参加者 83 名
第 422 回　学術講演会　平成 29 年　5 月 27 日（土）　実施予定
第 423 回　学術講演会　平成 28 年　6 月 24 日（土）　実施予定
第 7 回　富山県漢方フォーラム　平成 29 年　1 月 29 日（日）　実施　参加者 149 名
第 7 回　富山薬剤師フォーラム　平成 29 年　6 月 15 日（木）　実施予定
第 8 回　富山薬剤師フォーラム　平成 29 年　9 月 21 日（木）　実施予定
【感染制御研修委員会】
第 2 回　富山抗菌化学療法セミナー　平成 29 年　1 月 21 日（土）実施　参加者 55 名
【研修委員会】
富山県病院薬剤師会若手病院薬剤師カンファレンス 平成 28 年 11 月 5 日（土）実施
【がん化学療法・緩和ケア委員会】
第 20 回　がん化学療法・緩和ケア研修会　平成 29 年　3 月 11 日（土）　実施予定
【DI 委員会】
第 22 回富山県精神科薬剤師勉強会学術講演会　平成 29 年 4 月 8 日（土）　実施予定
【会報編集委員会】
日本病院薬剤師会雑誌 1 月号に挟み込まれているアンケートへの協力依頼が日本病院薬剤師会からあり、各施設での対応をお願いしたい
3. 平成 28 年度病院薬剤師就職説明会について
平成 29 年 3 月 11 日（土）午後 1：30～4：30
ウイング・ウイング高岡 1 階「交流スペース A」にて開催　参加施設；25 病院
①13：30～14：30　シンポジウム「これからの病院薬剤師」

・座長：北澤
・専門・認定薬剤師及び病棟薬剤師の立場からと題して5部門から講演
②14：40～16：30　個別面談　ブースを設置し病院毎個別面談を実施
・総合司会：高崎　受付：学術・会報　飲み物等の準備は会計で　役員集合 12：30
・個別面談は 15 分サイクルでチェンジ
・駐車券に関してはウィング・ウィングと協議

4. 平成 28 年度病院実務実習生発表報告会について
平成 28 年度は、実務実習（病院）ポスター発表会（病院薬剤師会共催）として実施
平成 29 年 4 月 8 日（土）13：00～講義実習棟 1 階 101-103 講義室
平成 29 年度は、実務実習（病院）発表会（病院薬剤師会共催）として実施予定
平成 29 年 7 月 22 日（土）1 期の学生 19 名
平成 29 年 11 月 18 日（土）2 期の学生 21 名
平成 30 年 4 月 7 日（土）3 期の学生 19 名
富大杉谷キャンパス講義実習棟 1 階大講堂　13 時から 17 時
発表 7 分質疑 3 分で、座長を病院薬剤師会より選出

5. その他
・富山大学より、3 月に予定されている 2 つのシンポジウムの案内
・小児用医薬品の開発促進に係る連携協定の締結式等について
病院薬剤師会より、小児医療に取り組んでいる施設の薬剤師を数名推薦
・平成 29 年度富山県病院薬剤師会学術会委員表彰の推薦について
厚生連滑川病院薬剤部　宮崎徹氏の推薦を承認
・会報編集委員より、代議員選挙公示の日程に合わせ、次回会報誌の発行を 2 週間早めるとの報告あり
・第 68 回通常総会の日程　平成 29 年 5 月 20 日　県民会館で開催予定
・病棟での記録の書き方等に関する研修会のようなものを企画できないかとの提案あり（村崎より）※研修委員会で検討することに。

平成２９年度　第１回役員会議事録

日　時：平成２９年４月１３日（木）午後６時３０分から午後８時２０分
場　所：富山県民会館　会議室　　５０４号室
出席者：北澤英徳、小出久仁子、脇田真之、黒崎俊美、有生明雄、朱亀進司、村田麻巳子、篠田健一、伊藤功治、高畑英信、守内　匡、高城正利、堂川嘉久、高崎京子、
永井伸幸、岡村元晴、村崎善之、山下岳至、浜手ひとみ　（順不同、敬称略）
委任状：足立伊佐雄、蛭谷一彦、本元浩和、
政氏藤玄、梅津博之、高木昭佳、吉田英樹
（議事内容）
１　前回議事録確認（平成２８年度　第５回役員会）　　特に訂正なし
２　各委員会活動報告
【学術委員会】（村崎）

<学術講演会　実施>　前回役員会報告より開催なし
<学術講演会　予定>
第 422 回　学術講演会　平成２９年５月２7 日（土）
第 423 回　学術講演会　平成２９年６月２４日（土）
第 42４回　学術講演会　平成２９年９月２日（土）
その他　7/２２、7/２９、8/５のうち１回予定
<フォーラム　予定>　　富山県薬剤師会・富山県病院薬剤師会合同
第７回　富山薬剤師フォーラム　平成２９年６月１５日（木）19：00～ボルファート
第８回　富山薬剤師フォーラム　平成２９年９月２１日（木）
【感染制御研修委員会】（伊藤）３月委員会議事録送付予定
・辻 泰弘先生（富山大学）の依頼で「第３回 富山抗菌化学療法セミナー」（8 月 19 日（土）富山県民会館）の共催依頼あり
・ATC/DDDsystem 並びに DOT を用いた多施設抗菌薬サーベイランスについて
4 月に会員施設宛の調査研究参加依頼文書を送付し 5 月 31 日までにデータを収集し、6 月下旬までに集計結果をとりまとめる。この結果については、本委員会が主催する研修会（10~11 月）で報告するとした。
・委員会活動費について講師料などの謝金、委員会参加に係る交通費などに関する規定について役員会に質問あり→会長より研修会では座長はボランティア、会員報告は図書カード、金額は委員長一任となっている。飲食関係の使用はお茶程度でと。
【がん化学療法・緩和ケア委員会】（高畑）
第 20 回　がん化学療法・緩和ケア研修会研修会　平成 29 年 3 月 11 日（土）実施
【研修委員会】（守内）
前回提案あった「薬剤管理指導業務」の記録の書き方についての研修会の開催について
・進行状況について報告・・・東海北陸医政局や記録の書き方について関西方面で講演会をしておられる方等に交渉中。
【ＤＩ委員会】（高城）
第２２回富山県精神科薬剤師勉強会学術講演会　　平成２９年４月８日（土）実施
参加４５名
【広報委員会】（篠田）
・薬事新報への２８年度活動報告は１９回
・平成 29 年度北陸ブロック学術大会は 11 月 20 日（日）金沢大学薬学部で開催予定
【その他報告】（有生）
①平成 28 年度富山県病院薬剤師就職説明会　　実施
・平成 29 年 3 月 11 日（土）13：30～16：30　　場所：ウィングウィング高岡
参加病院　25 施設　　参加者　　関係スタッフ　64 名　　学生　21 名
収支報告は別紙
②平成 28 年度　実務実習（病院）ポスター発表会　　実施
・平成 29 年 4 月 8 日（土）　13：30～16：30　　場所：富山大学杉谷キャンパス
（富山大学薬学部主催　富山県病院薬剤師会共催）

参加者：病院関係者　　28 名

※平成 29 年度の発表会は 3 期に分けて、実務実習終了週の土曜日開催予定

3　平成２９年度富山県病院薬剤師会総会開催について　（北澤）

日時：平成 29 年 5 月 20 日　14：00～　　場所：県民会館

総会次第・一般会計歳入歳出資料等確認

特別講演：日本病院薬剤師会副会長　土屋　文人　先生　「病院薬剤師の使命と責任」

当日の役割分担について話し合い決定

会場準備：厚生委員会、研修委員会、吉田　　受付：学術委員会

新人写真撮影：会報委員会　　認定証準備：事務局、堂川　　等

4　第 55 回日病薬通常総会について

・平成 29 年 2 月 18 日開催の第 54 回病薬通常総会について報告（高畑）　　資料有

・6 月 12 日開催予定の第 55 回病薬通常総会の質疑事項において「抗がん剤の流通過程における暴露対策の必要性」について提案する予定（北澤）

5　薬学協議会北陸支部総会について　（堂川）

4 月 15 日に総会開催　　平成 31 年度からの新コアカリは 31 年 2 月より始まる

平成 30 年度の実務実習に関してお盆 8/13～20 を休日にするかどうか検討された

6　その他

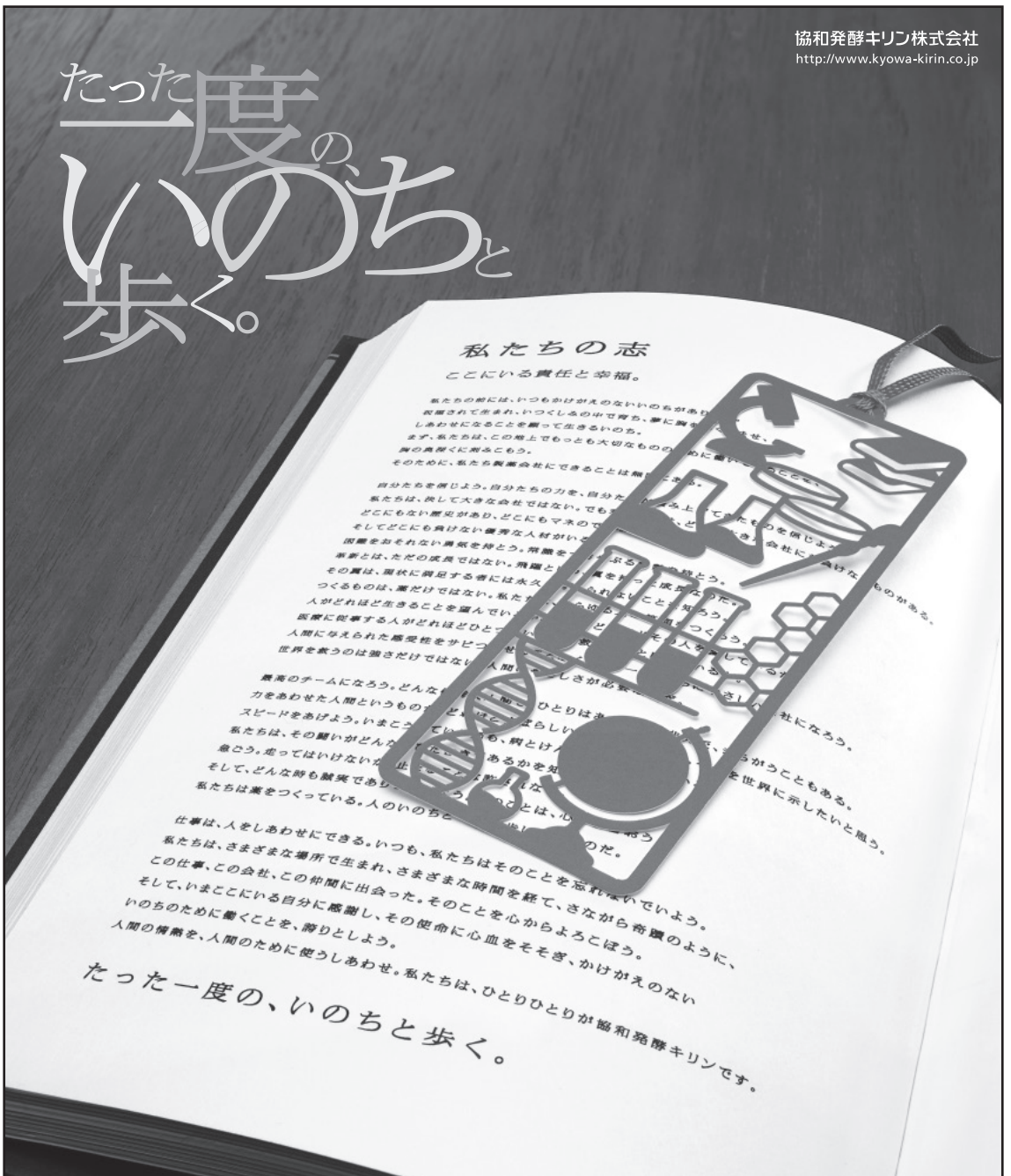
病院・薬局実務実習の北陸地区調製機構の担当は北澤、朱亀との報告あり

質問等はこちらにと



協和発酵キリン株式会社
http://www.kyowa-kirin.co.jp

たった一度の、いのちと歩く。



KYOWA KIRIN

私たちの志　検索

2015年12月作成

平成28・29年度病薬事業・会務報告

（2017. 2.1 ～ 2017. 6.30 ）

2月 4日　第421回 学術講演会 （ボルファートとやま）

【情報提供】『 経口Fxa阻害剤「エリキュース」 』 ファイザー株式会社

【一般講演】『 糖尿病患者への薬学的マネジメント ～ 病院薬剤師の立場から ～ 』

厚生連高岡病院　薬剤部　辻 未希子 先生

【特別講演】『 心房細動アブレーションの進歩 ～ クライオアブレーションも含めて ～ 』

富山大学大学院医学部薬学研究部 内科学（第二）講座　中谷 洋介先生

2月 9日　第5回 役員会

2月13日　第36回DI研修会 （明治安田生命富山駅前ビル）

【情報提供】「抗RANKL抗体プラリア皮下注に関して」第一三共株式会社

【特別講演】『 骨粗鬆症の治療戦略～医療連携を含めて～ 』

『 骨粗鬆症の最新の話題～医療連携を含めて～ 』

富山赤十字病院　第1整形外科 部長　中村　宏　先生

3月 7日　病薬会報第１３３号配布

3月11日　第20回がん化学療法・緩和ケア研修委員会

【情報提供】「 アバスチン® に関する情報提供 」　中外製薬株式会社

【一般講演】『 抗体創薬技術とバイオ医薬品の将来展望 』

中外製薬株式会社　創薬企画推進部　副部長　平田　裕一

【特別講演】『 大腸がん　最新の知見を 中心に 』

富山県立中央病院　内科（腫瘍）　医長　堀田　洋介　先生

4月 8日　第22回富山県精神科薬剤師勉強会学術講演会（ボルファートとやま）

【情報提供】「自閉スペクトラム症におけるエビリファイの有用性」

大塚製薬株式会社 学術課 秋吉 恒

【一般講演】『 富山県における向精神薬処方実態調査 』

かみいち総合病院 薬剤科 高城 正利 先生

【特別講演】『 発達障害の薬物療法』

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 小児神経科 本間 一正 先生

4月13日　第1回役員会

5月20日　第68回 富山県病院薬剤師会通常総会（富山県民会館）

5月27日　第422回 学術講演会 （ボルファートとやま）

【情報提供】「アイミクス配合錠」　大日本住友製薬株式会社

【一般講演】『 脳卒中予防のための血圧管理について 』

富山大学附属病院　神経内科　診療准教授　田口　芳治 先生

【特別講演】『 多発性硬化症／視神経脊 髄炎の診断と治療 』

富山大学附属病院　神経内科　教授　中辻　裕司 先生

6月15日　第7回 富山薬剤師フォーラム ～ 泌尿器疾患を学ぶ会 ～

《情報提供》「ベタニス錠25mg・50mg」 アステラス製薬株式会社

《基調講演》『 地域包括ケアシステムとかかりつけ薬局・薬剤師の役割 』

富山県薬剤師会青年薬剤師会 会長 内田 陽一 先生

《特別講演》『 LUTSとOAB ～薬剤師が見るべきポイント～ 』

富山大学の手術支援ロボットda Vinci Xiサージカルシステムの状況報告

富山大学大学院医学薬学研究部 腎泌尿器科学講座 教授 北村 寛 先生

6月24日　第423回 学術講演会 （ボルファートとやま）

【情報提供】「ビアノア錠に関する最新Topics 」大鵬薬品工業株式会社富山出張所 稲見直久

【特別講演Ⅰ】『 アトピー性皮膚炎の治療戦略 』

富山大学大学院医学薬学研究部 皮膚科学 講師 三澤 恵 先生

【特別講演Ⅱ】『 めまい治療の最前線 』

富山大学大学院医学薬学研究部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学 教授 將積 日出夫 先生

＊＊

会員の異動（2017.2～ 2017.6 ）

＊＊

〔入会〕

	氏　名	施 設 名
平成29年4月1日	中島健太郎	高岡整志会病院
	油井美智子	特別会員
平成29年4月3日	小川紗知	公立南砺中央病院
	大后靖也	東方会おおやま病院
平成29年4月4日	中田涼子	富山赤十字病院
	大竹和弥	厚生連滑川病院
	小川柴乃	かみいち総合病院
平成29年4月7日	田原　光	富山赤十字病院
	植竹絢子	富山大学附属病院
	太田萌子	富山大学附属病院
	舘野紘子	富山大学附属病院
平成29年4月10日	牧野慶子	八尾総合病院
	小林徳子	八尾総合病院
平成29年4月11日	坪島慈子	西能病院
平成29年4月13日	深井美乃梨	砺波総合病院
	金田英亨	富山県立中央病院
	二日市昂太	富山県立中央病院
	北川佳奈	富山県立中央病院
	竹田稚菜	富山市民病院
	高嶋祐美	富山市民病院
	小川純輝	富山市民病院
	藤塚美咲	富山市民病院
	太田憲吾	富山市民病院
平成29年4月17日	秋川千晴	高岡市民病院
	林　克紀	済生会富山病院
	新家由莉	済生会富山病院
平成29年4月21日	中曽根美香	厚生連高岡病院
	野尻雅人	厚生連高岡病院
	蜂谷美礼	厚生連高岡病院
	林　絵里	厚生連高岡病院
	坂東初音	厚生連高岡病院
	前田志帆	金沢医科大学氷見市民病院
	内山弘子	富山労災病院

〔変更〕

	氏　名	変更後	変更前
平成29年3月31日	今村理佐	特別会員	富山逓信病院
平成29年4月1日	徳永健司	特別会員	富山市民病院
平成29年4月7日	表寺克紀	チューリップ長江病院	山田温泉病院
平成29年4月13日	川尻憲行	砺波総合病院	富山大学附属病院

〔退　会〕

退 会 日	氏　名	施 設 名
平成29年3月31日	松本育子	済生会高岡病院
	高田真理子	藤木病院
	松本泰子	富山逓信病院
	戸田賀子	富山市民病院
平成29年4月3日	池本裕美子	ぬのせ内科クリニック
	陸田由美子	中村記念病院
平成29年4月7日	村田いずみ	富山城南温泉病院
	島　祐子	特別会員
平成29年4月11日	山田章子	西能病院
平成29年4月17日	瀧川克典	太閤山病院
平成29年4月21日	大浦洋子	ふくの若葉病院
平成29年6月12日	長谷川久信	かみいいの薬局
平成29年6月30日	政氏藤玄	金沢医科大学氷見市民病院

＊＊

他県の病薬会報受領一覧

2017. 2　～　2017. 6

＊＊

千葉県	千葉県病薬会報	第196号	2017.4
岐阜県	ぎふ病薬	No.61	2017.2
栃木県	栃木県病薬会誌	第107号	2017.3
宮城県	宮城県病薬ニュース	No.88	2017.2
大阪府	O.H.P.NEWS	Vol.59 No.3	2017.3
大阪府	O.H.P.NEWS	Vol.59 No.4	2017.4
大阪府	O.H.P.NEWS	Vol.59 No.5	2017.5
大阪府	O.H.P.NEWS	Vol.59 No.6	2017.6
京都府	京都薬報	2月号	2017.2
京都府	京都薬報	3月号	2017.3
京都府	京都薬報	4月号	2017.4
京都府	京都薬報	5月号	2017.5
京都府	京都薬報	6月号	2017.6
広島県	広島県病院薬剤師会誌	Vol.52 No.1	2017.2
広島県	広島県病院薬剤師会誌	Vol.52 No.2	2017.5
広島県	DRUG INFORMATION NEWS	Vol.45 No.1	2017.2
広島県	DRUG INFORMATION NEWS	Vol.45 No.2	2017.5
福岡県	福岡県病院薬剤師会誌	No. 198	2017.2
福岡県	福岡県病院薬剤師会誌	No. 199	2017.5
高知県	高知県病院薬剤師会誌	No. 131	2017.3
熊本県	病薬にゅーす	Vol.49 No.2	2017.2
東京都	東京都病院薬剤師会雑誌	Vol.66 No.2	2017.3
東京都	東京都病院薬剤師会雑誌	Vol.66 No.3	2017.5
群馬県	群馬県病院薬剤師会会誌	第46巻4号	2017.3
岩手県	病薬いわて	Vol.41 No.1	2017.3
神奈川県	神奈川県病院薬剤師会雑誌	第49巻1号	2017.3
茨城県	茨城県病院薬剤師会会誌	Vol.58 No.1	2017.3
佐賀県	佐賀県病院薬剤師会会誌	Vol.44 No.2	2016.12
長崎県	長崎県病薬会誌	第107号	2017.1
長崎県	長崎県病薬会誌	第108号	2017.5
青森県	青森県病薬会誌	No.70	2017.1
岡山県	岡山県病院薬剤師会報	第59号　第1号	2017.1
岡山県	岡山県病院薬剤師会報	第59号　第2号	2017.4
埼玉県	埼玉病薬	Vol. 24 No.2	2017.4
兵庫県	会報	No.151	2017.5
三重県	会誌	Vol.45 No.2	2017.1
三重県	DRUG INFORMATION NEWS	第30号	2017.1
大分県	会報	Vol.48 No.2	2017.2
秋田県	秋病薬報	Vol. 21 No.2	2016.12
秋田県	秋田県病薬会報	第41号	2017.3
福井県	会報	NO.93	2017.3
和歌山県	和歌山県病院薬剤師会会誌	第25号	2016
北海道	北海道病院薬剤師会誌	No.92	2017.4
愛知県	APJFP	Vol.44 No.3	2017.1
愛知県	APJFP	Vol.44 No.4	2017.2
山形県	DI NEWS	No.28	2017.3
新潟県	会誌	No.126	2017.3
福島県	病診薬だより	No.110	2017.3

漢方医学と西洋医学の融合により
世界で類のない最高の医療提供に貢献します











自然と健康を科学する
漢方のツムラ

http://www.tsumura.co.jp/

●資料請求・お問い合せは、お客様相談窓口まで。

【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970 【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

県 外 病 薬 誌 一 覧

事 務 局

第 70 回目の県外病薬誌のコンテンツをお届けします。
記事の全文をお読みになりたい方は、下記請求先まで病薬会誌名、巻・号・年、タイトル・ページ数を FAX あるいは電話でご連絡ください。追ってコピーを送付いたします。

請求先　　富山市丸の内1丁目8－15
富山県病院薬剤師会事務局
FAX　076－433－8806
電話　076－433－8806

O.H.P.NEWS（大阪府） Vol.59 No.3

タ　イ　ト　ル	頁
〔新薬の顔〕　ラコサミド	5
〔病棟活動報告〕　社会医療法人景岳会南大阪病院における病棟活動報告	9

O.H.P.NEWS（大阪府） Vol.59 No.4

タ　イ　ト　ル	頁
〔新薬の顔〕 ペムブロリズマブ(遺伝子組み換え)	5
〔病棟活動報告〕　無菌調製と癌化学療法	14

O.H.P.NEWS（大阪府） Vol.59 No.5

タ　イ　ト　ル	頁
〔新薬の顔〕　チカグレロル	5
〔病棟活動報告〕　チーム医療～緩和ケアチーム～	13

O.H.P.NEWS（大阪府） Vol.59 No.6

タ　イ　ト　ル	頁
〔新薬の顔〕　イダルシズマブ(遺伝子組み換え)	5
〔病棟活動報告〕　野崎徳洲会病院における病棟活動報告	10

DRAGINFORMATION　NEWS(広島県） Vol.45 No.1

タ　イ　ト　ル	頁
〔質疑応答 〕	
気管支喘息治療における生物学的製剤について	1
筋萎縮性側索硬化症の流涎対策としてのスコポラミン軟膏について	5
好酸球性多発血管炎性肉芽腫について	8
骨吸収抑制薬投与患者の歯科治療と一時的休薬・再開について	11

喘息治療において適切な吸入手技が確認されるも難治性を示す場合の留意点について	16
変形性膝関節症の疼痛に対する薬物療法について	20
放射線画像診断の医療被ばくによる発がんリスクについて	24
慢性疼痛に対する向精神薬の薬物療法について	28
免疫チェックポイント阻害剤による 1 型糖尿病発症について	31
免疫チェックポイント阻害薬治療における pseudo progression について	33

DRAGINFORMATION NEWS(広島県) Vol.45 No.2

タ イ ト ル	頁
〔質疑応答 〕	
改良型腹水濾過濃縮再静注報について	1
家族性高コレステロール血症ホモ接合体について	3
静注用人免疫グロブリン製剤が(1→3)-β-D-グルカン値に及ぼす影響について	6
腎機能低下時における Helicodacter pylori 除菌について	9
年一回投与ビスホスホネート製剤について	12

広島県病院薬剤師会誌 Vol.52 No.1

タ イ ト ル	頁
〔会員報告〕	
広島県下 31 施設における抗菌薬使用密度と耐性菌分離率に関する地域共同サーベイランス	3

広島県病院薬剤師会誌 Vol.52 No.2

タ イ ト ル	頁
〔会員報告〕	
膝関節手術患者における術後抗凝固療法を中心としたチェックリスト導入による効果	73

福岡県病院薬剤師会会誌 No.198

タ イ ト ル	頁
質疑応答シリーズ	
ステロイド性骨粗鬆症について教えてください～10年ぶりのガイドライン改訂をふまえて～	20

福岡県病院薬剤師会会誌 No.199

タ イ ト ル	頁
質疑応答シリーズ	
最新の高齢者糖尿病治療について教えてください	14

山形県 DI news No.28

タ イ ト ル	頁
会員報告 乳果オリゴ糖摂取による排便コントロールの検討	12
―妊婦・授乳婦専門部門、妊娠と薬外来―	14
注射キット製品を半量使用する場合の使用手順	18

長崎県病薬会誌 第 108 号

タ イ ト ル	頁
こちら薬品情報室	

がん薬物療法における曝露対策について	56

神奈川県病院薬剤師会雑誌　第49巻　1号

タ　イ　ト　ル	頁
DIの頁　PCSK9 とは何ですか?	19
がん化学療法に伴う味覚障害・口内炎や外観変化にはどのような対処法がありますか	20

佐賀病薬誌　Vol.44 No.2

タ　イ　ト　ル	頁
〔学術〕	
乳癌術後 FEC 療法におけるペグフィルグラスチムの費用対効果	13

北海道病院薬剤師会雑誌　No. 92

タ　イ　ト　ル	頁
[会員研究発表]	
抗菌薬適正使用に向けた取り組み耐性化への影響	19
札幌医科大学附属病院における悪性黒色腫に対するニボルマブの使用状況調査	23
適正使用に基づいた SGLT2 阻害薬使用による血糖管理及び代謝機能への影響	27
調剤薬パスボックス投入時の PDA 認証による払い出しミス防止効果及び効率性の検証	31

東京都病院薬剤師会雑誌　Vol. 66　No. 2

タ　イ　ト　ル	頁
[そこが知りたい医薬品情報]	
自閉スペクトラム症における抗精神病薬の位置づけ	9
難治性腹水に対する腹水濾過濃縮再静注法(CART)について	11

東京都病院薬剤師会雑誌　Vol. 66　No. 3

タ　イ　ト　ル	頁
[そこが知りたい医薬品情報]	
塩化ラジウム(Ra-223)注射液について	11
高齢者糖尿病の血糖コントロール目標について	12

熊本県　病薬にゅーす　Vol.49 No.2

タ　イ　ト　ル	頁
[研究・調査]	
骨粗鬆症リエゾンサービス導入による大腿骨近位部位骨折患者の骨粗鬆症治療率の変化	13
DRAGINFORMATION	
せん妄対策としての薬物療法的アプローチと、アウトカム改善への薬剤師の役割	17

会報 （兵庫県） No. 151

タ　イ　ト　ル	頁
[医薬品情報活動]	
実践的能力を有する薬剤師育養成のための実務実習プログラムの紹介	1
トランコロン®P 配合錠による重症型薬疹	2
高コレステロール血症に対するエボロクマブの使用症例	3

がん薬物療法による口内炎に対して、ロペラミド含嗽を行った1例について	4
胃がんに対しラムシルマブ投与後に infusion reaction の発現が疑われた1症例	5
オキサリプラチンによる抹消神経障害予防のための取り組み	6
DPP-4 阻害薬ビルダグリプチンによる水疱性類天疱瘡を発症した一症例	7
バンコマイシン点滴静注用の初期投与量に関する考察	8
多発性骨髄腫に対するカルフィゾミブを使用した1症例	9
当院におけるレジパスビル/ソホスブビル配合錠使用患者の経過報告	10
フェントステープからアンベック注に切り替えた 1 症例について	11

愛知県病院薬剤師会雑誌　Vol.44 No.4

タ　イ　ト　ル	頁
特別寄稿	
MMF の役割とその成果　―腎移植での副作用対策の実際―	2
会員報告	
高リン血症治療のアプローチ	5



（写真提供　富山逓信病院　堂川嘉久）

編集後記

今年は梅雨入りも遅く、空梅雨続きで高を括っていたところ、7月に入りと突然の大雨に見舞われてしまいました。また、九州地方では未曾有の大雨となり、甚大な被害が出ているとの報道がされています。会員の皆様におかれましては、本号がお手元に届くころには梅雨も明け、夏本番を迎えお忙しくご活躍のことと思います。

さて、先日、富山大学薬学部の同窓会富山・石川支部会に参加してきました。その際、大学の近況として細谷薬学部長から、富山大学薬学部の今年度入学者のうち富山県出身者は、薬学科(6年制) 9名、創薬化学科(4年制)5名であったことが報告されました。さらに、昨年度、文部科学省に対して薬学科にも地域枠の設置を申請したが、国立大学の薬学部数が 14 しかなく、受験者の公平さを担保できないため受理されなかったとの説明がありました。また、来年度の入学生からは、文部科学省が10年間の経過措置として設置していた、4 年制課程の学生に対する薬剤師国家試験受験資格付与制度がなくなります。これらのことからも、病院薬剤師の業務が拡大する中、県内の病院薬剤師の確保は難しい状況が続くのではないかと予想されます。一方、薬局薬剤師の方でも、多くの門前調剤薬局が地域包括ケアシステムに対応した健康サポート薬局への転換を求められており、今後薬局数の大幅な減少も予想されています。このような状況であることを踏まえ、薬剤師を目指している方、転職を希望されている方あるいは休職されている方に、病院薬剤師の魅力をアピールしていくことが大切だと思うこのごろです。

今年も多くの新人薬剤師の入会がありました。今後も本誌が会員の情報交換に役立つようにしたいと思いますので、ご投稿等ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。(L.I.)

☆☆☆